

# エコアクション21 環境活動レポート

(活動期間:平成28年4月～平成29年3月)

小学校・中学校・消防署(活動期間:平成29年4月～7月)



〈実習生の夏 海王丸〉

**御前崎市**

平成29年11月17日更新

平成29年8月31日発行

— 目次 —

1. 環境方針	1
2. 組織の概要	2
○ 市の概要	2
○ 自治体名及び代表者名	2
○ 環境管理責任者	2
○ 所在地	2
○ 担当課	3
○ 事業活動の内容	3
○ 事業の規模	3
○ 取得の範囲	3
○ 今後の取得(拡大)予定	4
3. 実施体制	5
○ 各組織の役割	6
4. 環境目標及び環境活動計画	7
○ 中期環境目標と平成28年度実績	7
5. 環境目標の実績と評価、次年度の取組内容	11
○ 環境負荷の状況と評価、次年度の取組内容	11
○ 拡大予定施設の実績	23
6. 環境活動計画と取組結果	28
○ 環境活動計画と取組結果	28
○ 平成28年度 本来業務に即した環境取組	30
○ 平成29年度 本来業務に即した環境取組	36
○ 環境基本計画に基づく取組と実績の主なもの	44
7. 教育訓練の実施	47
○ 教育訓練の実施	47
○ 内部監査総括報告書	48
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	49
○ 環境関連法規一覧	49
○ 公害苦情件数	52
9. 代表者による全体の評価	52

## 1 環境方針

### 【基本理念】

御前崎市は、北部は牧之原台地から続く丘陵地帯、南部は御前崎灯台の建つ岬や遠州灘海岸など自然豊かな環境に恵まれた地です。この自然環境を現在のみならず将来へ良好な状態で引き継いでいけるよう、環境基本計画において4つの基本理念を定めています。

1. 健全で豊かな環境の恵みを受け、良好で快適な環境を将来の世代へ継承する。
2. 自然環境に恵まれた地域特性を生かして自然と人との共生を確保する。
3. 持続的発展が可能な社会を構築する為に、全ての者が公平な役割分担の下で自主的積極的に取り組む。
4. すべての事業活動及び日常生活において地球環境の保全を積極的に推進する。

### 【環境方針】

#### (1) 環境基本計画の着実な推進

御前崎市の望ましい環境イメージである「育てよう自然の恵みと若い夢 未来へ灯す御前崎」の実現を目指して、地球環境保全に向けた取組を総合的に推進します。

#### (2) 環境に配慮した事務事業の推進

二酸化炭素の排出削減及び水道の使用量削減に努めるとともに、3R(Reduce=廃棄物の発生抑制・Reuse=再使用・Recycle=再資源化)やグリーン購入を推進し、地球環境の保全・創造に向け、市民・事業者との協働に取り組みます。

#### (3) 事務事業の継続的改善と法規制等の遵守

事務事業の推進にあたっては、計画、実行、点検評価、見直しのPDCAサイクルを繰り返すことで、環境への負荷を低減するとともに、環境関連法令等についても遵守します。

#### (4) 環境方針の周知と公表

環境方針は全ての職員等に周知するとともに、環境活動レポートを市民にも公表し、環境保全の状況の変化、市民や職員等からの意見、提案の反映に努めます。

平成 24 年 2 月 1 日制定

平成 28 年 4 月 18 日改定

御前崎市長 柳澤重夫 ⑩

## 2 組織の概要

### ○ 市の概要

静岡県御前崎市は、小笠郡浜岡町と榛原郡御前崎町の2つの町が合併し、平成16年4月1日に誕生しました。

本市は、北部は牧之原台地から続く丘陵地帯、南部は御前崎灯台の建つ岬や遠州灘海岸の砂丘地帯など豊かな自然に恵まれた市です。

一方、平成23年4月に開港40周年を迎えた御前崎港は、5万トン級の大型コンテナ船が接岸できる多目的国際ターミナルを持ち、東南アジア航路が就航しています。

また、御前崎港と静岡空港とを結ぶ高規格道路も開通し、本市は陸・海・空の玄関口として将来に向けて大きく発展することが期待されています。



市の花 ハマヒルガオ



市の木 ヤマモモ

### ○ 自治体名及び代表者名

御前崎市

代表者 御前崎市長 柳澤重夫

### ○ 環境管理責任者

市民生活部長 水野直寿

### ○ 所在地

本庁:御前崎市池新田 5585 番地

教育会館:御前崎市白羽 6171 番地の 1

市立図書館アスパル:池新田 5560 番地

浜岡学校給食センター:池新田 1449 番地の 2

御前崎学校給食センター:白羽 3520 番地の 6

池新田公民館:池新田 3262 番地

高松公民館:門屋 2060 番地の 2

佐倉公民館:佐倉 3617 番地の 1

比木公民館:比木 2836 番地の 1

朝比奈公民館:上朝比奈 2681 番地の 1

新野公民館:新野 789 番地の 1

御前崎公民館:御前崎 6185 番地の 1

白羽公民館:白羽 5403 番地の 20



浜岡保育園:池新田 2331 番地の 6      白羽保育園:白羽 3576 番地の 1  
池新田幼稚園:池新田 5814 番地      高松幼稚園:門屋 2070 番地の 103  
白羽幼稚園:白羽 3520 番地の 46      さくらこども園:佐倉 888 番地の 1  
北こども園:上朝比奈 2692 番地の 12      御前崎こども園(乳児棟):御前崎 2936 番地の 2  
御前崎こども園(幼児棟):御前崎 78 番地の 27  
第一小学校:池新田 1520 番地      浜岡東小学校:佐倉 1403 番地の 1  
浜岡北小学校:下朝比奈 753 番地      御前崎小学校:御前崎 3556 番地  
白羽小学校:白羽 3521 番地の 3      浜岡中学校:池新田 3923 番地の 1  
御前崎市牧之原市学校組合立御前崎中学校:牧之原市新庄 800 番地の 1  
消防署:池新田 5151 番地の 1

#### ○担当課

御前崎市市民生活部環境課  
環境政策係 担当:河原崎充  
電話0537-85-1162      FAX0537-85-1149  
E-mail [kankyo@city.omaezaki.shizuoka.jp](mailto:kankyo@city.omaezaki.shizuoka.jp)

#### ○事業活動の内容

御前崎市で実施している事務・事業  
御前崎市 公式ホームページ参照  
ホームページアドレス <http://www.city.omaezaki.shizuoka.jp>

#### ○事業の規模(平成28年4月1日現在)

御前崎市人口 33,488人  
職員総数 672人  
対象施設職員数 457人(職員322人、臨時職員135名)  
拡大予定施設(学校)職員数 247人(職員163人、臨時職員84人) … ※H29年4月1日  
拡大予定施設(消防署)職員数 66人(職員65人、臨時職員1人) … ※H29年4月1日  
延べ床面積 本庁舎:6,510㎡、教育会館(支所):3,386㎡、図書館:3,452㎡、  
学校給食センター計:2,390㎡、8公民館計:10,943㎡、園計:12,969㎡、  
小中学校計:51,499㎡、消防署:3,207㎡  
予算額 17,940,000千円(一般会計)

#### ○取得の範囲

<平成28年認証取得範囲> 23部署

◇本庁 … 総務課、秘書政策課、財政課、防災課、税務課、議会事務局、監査委員事務局、  
会計課、市民課、福祉課、こども未来課、高齢者支援課、健康づくり課、  
都市建設課、管理課、農林水産課、商工観光課、水道課、環境下水道課  
注)防災課のみオフサイトセンター1F事務所

◇教育会館 … 教育委員会(教育総務課、学校教育課、社会教育課)、御前崎支所

#### 《平成27年3月4日認証・拡大施設》

◇市立図書館アスパル      ◇学校給食センター(浜岡・御前崎)

◇公民館 … 池新田、高松、佐倉、比木、朝比奈、新野、御前崎、白羽

《平成 29 年 3 月認証・拡大施設》

- ◇保育園 … 浜岡保育園、白羽保育園
- ◇幼稚園 … 池新田幼稚園、高松幼稚園、白羽幼稚園
- ◇こども園 … さくらこども園、北こども園、御前崎こども園

＜今回認証・拡大施設＞

- ◇小学校 … 第一小学校、浜岡東小学校、浜岡北小学校
- ◇中学校 … 浜岡中学校、御前崎中学校
- ◇消防署



第一小学校 (S63 年: 9,116 m<sup>2</sup>)



浜岡東小学校 (S50 年: 6,319 m<sup>2</sup>)



浜岡北小学校 (S52 年: 5,015 m<sup>2</sup>)



御前崎小学校 (H16 年: 5,548 m<sup>2</sup>)



白羽小学校 (S54 年: 5,785 m<sup>2</sup>)



浜岡中学校 (S33 年: 11,761 m<sup>2</sup>)



御前崎中学校 (S47 年: 7,955 m<sup>2</sup>)

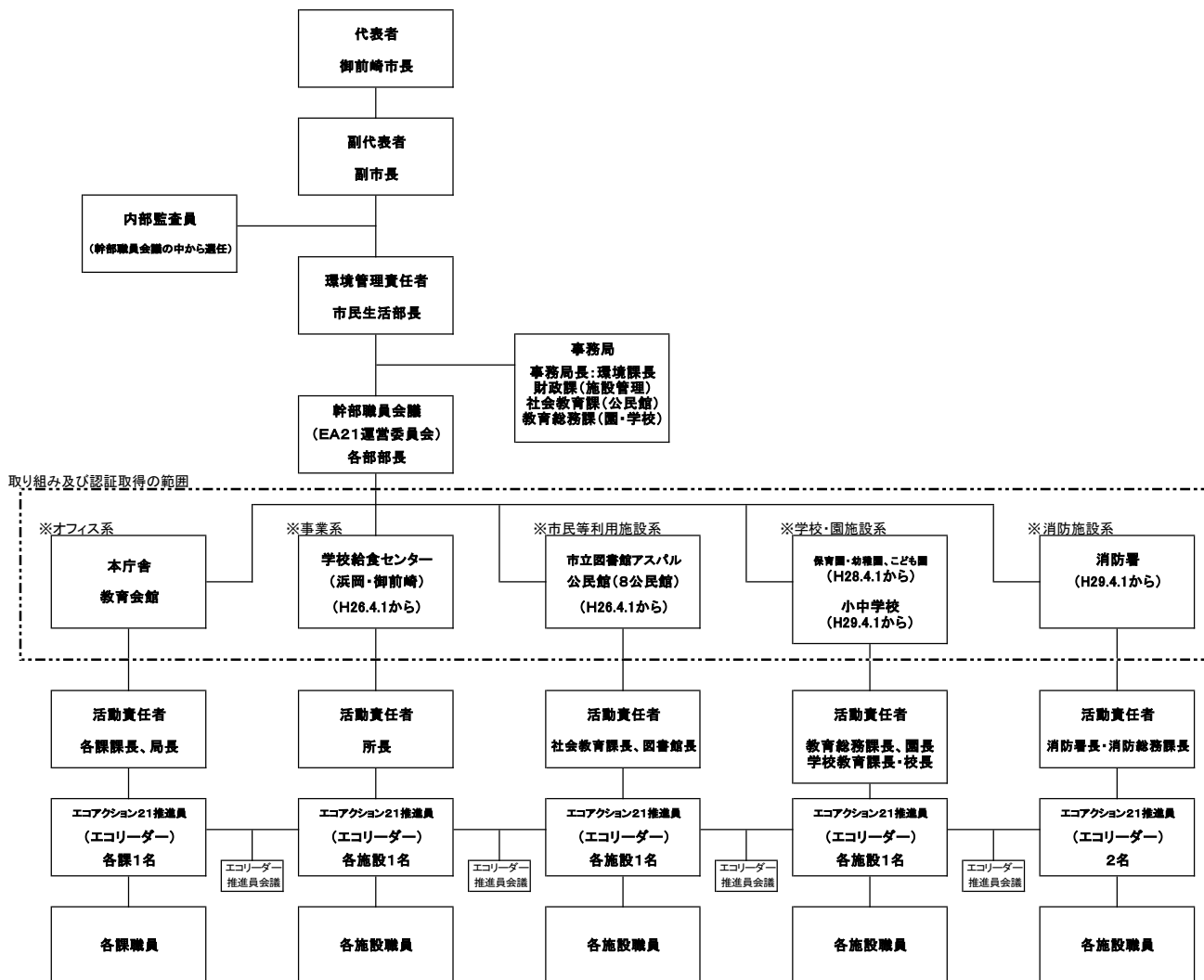


消防署 (H28 年: 3,207 m<sup>2</sup>)

### 3 実施体制

御前崎市エコアクション21 実施体制(平成26年4月1日以降)

対象施設及び部署:本庁舎、御前崎支所、市立図書館アスパル、学校給食センター(浜岡・御前崎)、公民館(8公民館)、  
 保育園(浜岡・白羽)、幼稚園(池新田・高松・白羽)、こども園(さくら・北・御前崎)  
 平成29年度認証・拡大予定施設(小学校・中学校・消防署)



※但し、各公民館においては、活動責任者を社会教育課長とし、エコアクション21推進員(エコリーダー)を各公民館へ1名置くものとする。  
 保育園・幼稚園・こども園の事務局はこども未来課・学校教育課、小学校、中学校の事務局は学校教育課・教育総務課に置くものとする。

## 各組織の役割

- 代表者及び副代表者(市長及び副市長)  
環境方針の制定  
環境管理システムに必要な資源(人員、設備、費用)の準備  
環境管理システムの見直し、評価  
環境管理責任者の指名
- 環境管理責任者(市民生活部長)  
環境管理システムの総責任者としてシステムの構築、実施、管理  
提出書類の精査、確認  
代表者及び副代表者へ環境管理システムの実績の報告
- 幹部職員会議(各部部長)エコアクション21運営委員会  
取組の評価及びチェック、環境管理責任者の補助、エコアクション21の進捗管理
- 活動責任者(各課課長、局長、所長、図書館長)  
各部署における適切な運用管理。環境管理システムの周知、徹底、訓練  
運用状況に関する点検、確認、評価  
内部監査に対する対応  
各部署における環境施策、取組、計画の決定
- エコアクション 21 推進員(エコリーダー)(各課係長等)  
各部署における取組の周知、徹底  
運用状況に関する点検、確認、評価  
環境管理システムに関する実施状況の確認、記録  
各部署における環境施策、取組、計画の素案作成  
エコリーダー推進員会議へ出席
- 職員  
市役所全体及び各部署の目標達成に向けて計画、行動の実践
- 内部監査員(総務部長、市民生活部長、健康福祉部長、建設経済部長、教育部長)  
各部署(実行部門)に対する監査の実施
- 事務局(環境課・財政課・教育総務課・社会教育課・学校教育課・こども未来課)  
環境管理システムに関する実施状況の取りまとめ、記録  
環境に関する職員研修等の運営  
内部監査の運営  
その他環境管理システムの運営上必要とする業務の実施





#### 4 環境目標

##### ○中期環境目標と平成28年度実績

環境目標は平成24年度を基準年度とした基準年度比を示す。

※評価は「○」「×」「△」

「○」:目標を達成した。「×」:早急に改善が必要。「△」:取組が十分でなくさらなる環境負荷への取組が必要

期間:平成28年4月から平成29年3月

二酸化炭素総排出量 (kg-Co2)	単位	平成24年度 (基準年)2012		平成28年度 (実績)2016		環境目標			評価
		使用量	排出量 (kg-Co2)	使用量	排出量 (kg-Co2)	平成28年度 (-4%)2016	平成29年度 (-5%)2017	平成30年度 (-6%)2018	
本庁舎	kg-Co2		354,645		282,601	340,459	336,913	333,366	○
教育会館(御前崎支所)	kg-Co2		138,384		157,639	132,849	131,465	130,081	△
市立図書館アスパル	kg-Co2		223,392		201,585	214,456	212,222	209,988	○
学校給食センター (浜岡・御前崎)	kg-Co2		416,700		430,219	400,032	395,865	391,698	△
公民館(8公民館)	kg-Co2		129,152		144,399	123,986	122,694	121,403	△
※保育園・幼稚園・こども園	kg-Co2		201,777		201,777	201,777	199,759	197,741	—
計	kg-Co2		1,464,050		1,418,220	1,413,559	1,398,919	1,384,278	△

※保育園・幼稚園・こども園の基準年は平成28年度のためH29:-1%、H30:-2%が目標値となる

全体評価は園を除く

電気使用量 H28(0.486kg-CO2/kwh) H24(0.474kg-CO2/kwh)	単位	平成24年度 (基準年)2012		平成28年度 (実績)2016		環境目標			評価
		使用量	排出量 (kg-Co2)	使用量	排出量 (kg-Co2)	平成28年度 (-4%)2016	平成29年度 (-5%)2017	平成30年度 (-6%)2018	
本庁舎	kwh	552,400	261,837	431,478	209,698	251,364	248,745	246,127	○
教育会館(御前崎支所)	kwh	250,405	118,691	280,410	136,279	113,943	112,756	111,570	△
市立図書館アスパル	kwh	469,869	222,717	412,989	200,712	213,808	211,581	209,354	○
学校給食センター (浜岡・御前崎)	kwh	334,090	158,358	354,217	172,149	152,024	150,440	148,857	△
公民館(8公民館)	kwh	269,213	127,606	293,736	142,755	122,502	121,226	119,950	△
※保育園・幼稚園・こども園	kwh	332,191	161,444	332,191	161,444	161,444	159,830	158,215	—
計	kwh	2,208,168	1,050,653	2,105,021	1,023,037	1,015,085	1,004,578	994,072	△

※保育園・幼稚園・こども園の基準年は平成28年度のためH29:-1%、H30:-2%が目標値となる

全体評価は園を除く

ガソリン (0.0671 × 34.6)		単位	平成24年度 (基準年)2012		平成28年度 (実績)2016		環境目標			評価
			使用量	排出量 (kg-Co2)	使用量	排出量 (kg-Co2)	平成28年度 (-4%)2016	平成29年度 (-5%)2017	平成30年度 (-6%)2018	
燃料 使用 量	本庁舎	ℓ	33,896	78,695	29,872	69,352	75,547	74,760	73,973	○
	教育会館(御前崎支所)	ℓ	7,490	17,389	8,397	19,494	16,693	16,520	16,346	△
	市立図書館アスパル	ℓ	290.60	673	375	872	646	639	633	△
	学校給食センター (浜岡・御前崎)	ℓ	518	1,202	206	480	1,154	1,142	1,130	○
	公民館(8公民館)	ℓ	216.30	502	200	464	482	477	472	○
	※保育園・幼稚園・こども園	ℓ	158	368	158	368	368	364	361	—
	計	ℓ	42,568.90	98,829	39,208	91,030	94,891	93,902	92,914	○

※保育園・幼稚園・こども園の基準年は平成28年度のためH29:-1%、H30:-2%が目標値となる

全体評価は園を除く

灯油 (0.0679 × 36.7)		単位	平成24年度 (基準年)2012		平成28年度 (実績)2016		環境目標			評価
			使用量	排出量 (kg-Co2)	使用量	排出量 (kg-Co2)	平成28年度 (-4%)2016	平成29年度 (-5%)2017	平成30年度 (-6%)2018	
燃料 使用 量	本庁舎	ℓ								
	教育会館(御前崎支所)	ℓ								
	市立図書館アスパル	ℓ								
	学校給食センター (浜岡・御前崎)	ℓ								
	公民館(8公民館)	ℓ								
	※保育園・幼稚園・こども園	ℓ	6,645	16,558	6,645	16,558	16,558	16,392	16,227	—
	計	ℓ	6,645	16,558	6,645	16,558	16,558	16,392	16,227	—

※保育園・幼稚園・こども園の基準年は平成28年度のためH29:-1%、H30:-2%が目標値となる

全体評価は園を除く

軽油 (0.0686 × 37.7)		単位	平成24年度 (基準年)2012		平成28年度 (実績)2016		環境目標			評価
			使用量	排出量 (kg-Co2)	使用量	排出量 (kg-Co2)	平成28年度 (-4%)2016	平成29年度 (-5%)2017	平成30年度 (-6%)2018	
燃料 使用 量	本庁舎	ℓ	5,457	14,113	1,373	3,550	13,548	13,407	13,266	○
	教育会館(御前崎支所)	ℓ	737	1,906	699	1,810	1,830	1,811	1,792	○
	市立図書館アスパル	ℓ								
	学校給食センター (浜岡・御前崎)	ℓ								
	公民館(8公民館)	ℓ								
	※保育園・幼稚園・こども園	ℓ								
	計	ℓ	6,194	16,019	2,072	5,360	15,378	15,218	15,058	○

※保育園・幼稚園・こども園の基準年は平成28年度のためH29:-1%、H30:-2%が目標値となる

全体評価は園を除く

A重油 (0.0693×39.1)		単位	平成24年度 (基準年)2012		平成28年度 (実績)2016		環境目標			評価
			使用量	排出量 (kg-Co2)	使用量	排出量 (kg-Co2)	平成28年度 (-4%)2016	平成29年度 (-5%)2017	平成30年度 (-6%)2018	
燃料 使用 量	本庁舎	ℓ								
	教育会館(御前崎支所)	ℓ								
	市立図書館アスパル	ℓ								
	学校給食センター (浜岡・御前崎)	ℓ	80,500	218,125	78,100	211,622	209,400	207,219	205,038	△
	公民館(8公民館)	ℓ								
	※保育園・幼稚園・こども園	ℓ								
	計	ℓ	80,500.00	218,125	78,100	211,622	209,400	207,219	205,038	△

※保育園・幼稚園・こども園の基準年は平成28年度のためH29:-1%、H30:-2%が目標値となる

全体評価は園を除く

LPガス (0.0591×50.8) ※給食センター:(0.0598×50.2)		単位	平成24年度 (基準年)2012		平成28年度 (実績)2016		環境目標			評価
			使用量	排出量 (kg-Co2)	使用量	排出量 (kg-Co2)	平成28年度 (-4%)2016	平成29年度 (-5%)2017	平成30年度 (-6%)2018	
燃料 使用 量	本庁舎	kg								
	教育会館(御前崎支所)	kg	132	397	18	54	381	377	373	○
	市立図書館アスパル	kg								
	学校給食センター (浜岡・御前崎)	kg	11,151	33,475	13,467	40,428	32,136	31,801	31,467	△
	公民館(8公民館)	kg	348	1,044	392	1,179	1,002	992	981	△
	※保育園・幼稚園・こども園	kg	7,795	23,404	7,795	23,404	23,404	23,170	22,936	-
	計	kg	19,426	58,320	21,672	65,065	56,923	56,340	55,757	△

※保育園・幼稚園・こども園の基準年は平成28年度のためH29:-1%、H30:-2%が目標値となる

全体評価は園を除く

ごみ総排出量		単位	平成24年度 (基準年)2012		平成28年度 (実績)2016		環境目標			評価
			排出量	排出量 (kg-Co2)	排出量	排出量 (kg-Co2)	平成28年度 (-4%)2016	平成29年度 (-5%)2017	平成30年度 (-6%)2018	
廃 棄 物	本庁舎	kg	10,296		16,579		9,884	9,781	9,678	△
	教育会館(御前崎支所)	kg	896		1,262		860	851	842	△
	市立図書館アスパル	kg	2,576		2,834		2,473	2,447	2,421	△
	学校給食センター (浜岡・御前崎)	kg	36,912		37,241		35,436	35,066	34,697	△
	公民館(8公民館)	kg	2,371		2,099		2,276	2,252	2,229	△
	※保育園・幼稚園・こども園	kg	13,981		13,981		13,981	13,841	13,701	-
	計	kg	67,032		73,996		64,910	64,240	63,569	△

※図書館・給食センター・公民館の基準年は平成27年度のためH28:-1%、H29:-2%、H30:-3%が目標値となる

※保育園・幼稚園・こども園の基準年は平成28年度のためH29:-1%、H30:-2%が目標値となる

全体評価は園を除く

水道使用量		単位	平成24年度 (基準年)2012		平成28年度 (実績)2016		環境目標			評価
			使用量	排出量(kg-Co2)	使用量	排出量(kg-Co2)	平成28年度 (-4%)2016	平成29年度 (-5%)2017	平成30年度 (-6%)2018	
水道	本庁舎	m <sup>3</sup>	3,242		4,961		3,112	3,080	3,047	△
	教育会館(御前崎支所)	m <sup>3</sup>	698		642		670	663	656	○
	市立図書館アスパル	m <sup>3</sup>	953		898		915	905	896	○
	学校給食センター (浜岡・御前崎)	m <sup>3</sup>	21,273		21,966		20,422	20,209	19,997	△
	公民館(8公民館)	m <sup>3</sup>	1,920		1,189		1,843	1,824	1,805	○
	※保育園・幼稚園・こども園	m <sup>3</sup>	16,913		16,913		16,913	16,744	16,575	—
	計	m <sup>3</sup>	44,999		46,569		43,876	43,426	42,976	△

※保育園・幼稚園・こども園の基準年は平成28年度のためH29:-1%、H30:-2%が目標値となる

全体評価は園を除く

コピー用紙使用量		単位	平成24年度 (基準年)2012		平成28年度 (実績)2016		環境目標			評価
			使用量	排出量(kg-Co2)	使用量	排出量(kg-Co2)	平成28年度 (-4%)2016	平成29年度 (-5%)2017	平成30年度 (-6%)2018	
コピー 枚数	本庁舎	枚	1,979,590		2,453,992		1,900,406	1,880,611	1,860,815	△
	教育会館(御前崎支所)	枚	447,291		494,827		429,399	424,926	420,454	△
	市立図書館アスパル	枚	44,669		44,192		44,222	43,776	43,329	○
	学校給食センター (浜岡・御前崎)	枚	46,003		47,716		45,543	45,083	44,623	△
	公民館(8公民館)	枚	433,203		229,270		428,871	424,539	420,207	○
	※保育園・幼稚園・こども園	枚	273,145		273,145		273,145	270,414	267,682	—
	計	枚	3,223,901		3,543,142		3,121,587	3,089,348	3,057,109	△

※図書館・給食センター・公民館の基準年は平成27年度のためH28:-1%、H29:-2%、H30:-3%が目標値となる

※保育園・幼稚園・こども園の基準年は平成28年度のためH29:-1%、H30:-2%が目標値となる

全体評価は園を除く

グリーン購入率		単位	平成24年度 (基準年)2012		平成28年度 (実績)2016		環境目標			評価
			使用量	排出量(kg-Co2)	使用量	排出量(kg-Co2)	平成28年度 2016	平成29年度 2017	平成30年度 2018	
グリーン 購入	本庁舎	%	38.4%		39.6%		実情把握	実情把握	実情把握	○
	教育会館(御前崎支所)	%	31.9%		12.2%		実情把握	実情把握	実情把握	△
	市立図書館アスパル	%	55.3%		38.9%		実情把握	実情把握	実情把握	△
	学校給食センター (浜岡・御前崎)	%	8.9%		40.6%		実情把握	実情把握	実情把握	○
	公民館(8公民館)	%	35.5%		53.7%		実情把握	実情把握	実情把握	○
	※保育園・幼稚園・こども園	%	7.0%		7.0%		実情把握	実情把握	実情把握	—
	計									

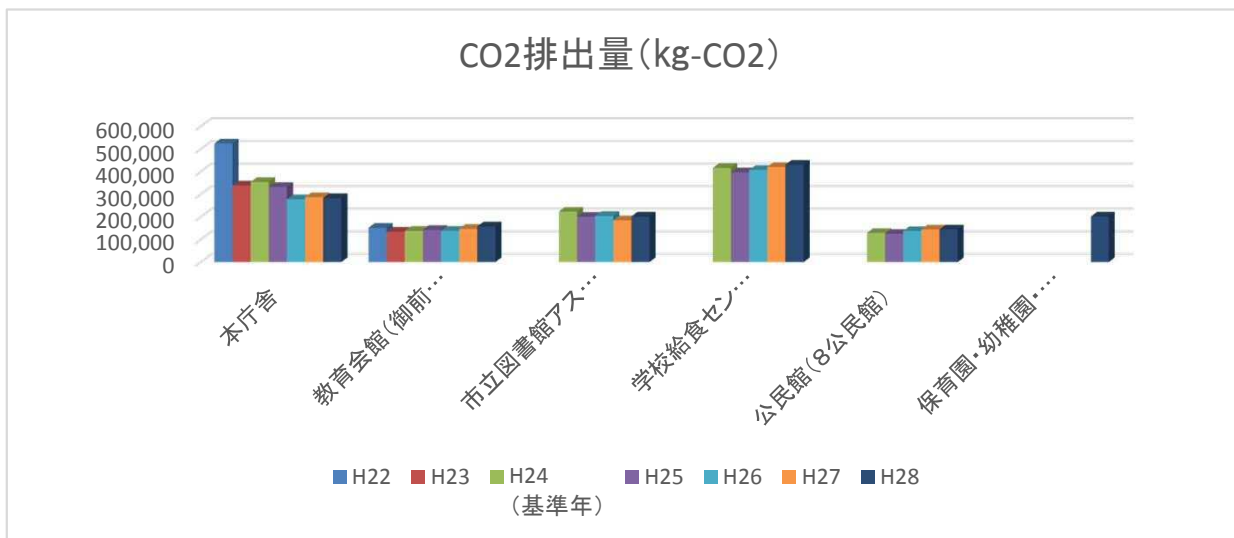
5 環境目標の実績と評価、次年度の取組内容

○環境負荷の状況と評価、次年度の取組内容

基準年：平成24年 運用期間：平成28年4月～平成29年3月

CO2排出量(kg-CO2)

kg-CO2	H22	H23	H24 (基準年)	H25	H26	H27	H28
本庁舎	524,468	339,019	354,645	332,783	277,756	287,083	282,601
教育会館(御前崎支所)	151,954	134,354	138,384	142,777	138,820	147,272	157,639
市立図書館アスパル			223,392	200,738	204,099	184,726	201,585
学校給食センター (浜岡・御前崎)			416,700	397,389	407,249	420,727	430,219
公民館(8公民館)			129,152	125,440	137,808	144,685	144,399
保育園・幼稚園・こども園							201,777
計	676,422	473,373	1,262,273	1,199,127	1,165,732	1,184,493	1,418,220



○本庁舎の二酸化炭素排出量について、基準年比で-20%削減しました。

しかし、前年度比は-1.5%と削減率が横ばいとなっているため、引き続き、環境負荷の軽減と本来業務に対する取組を実施していきます。

教育会館については、電気使用箇所が増えたため増加。

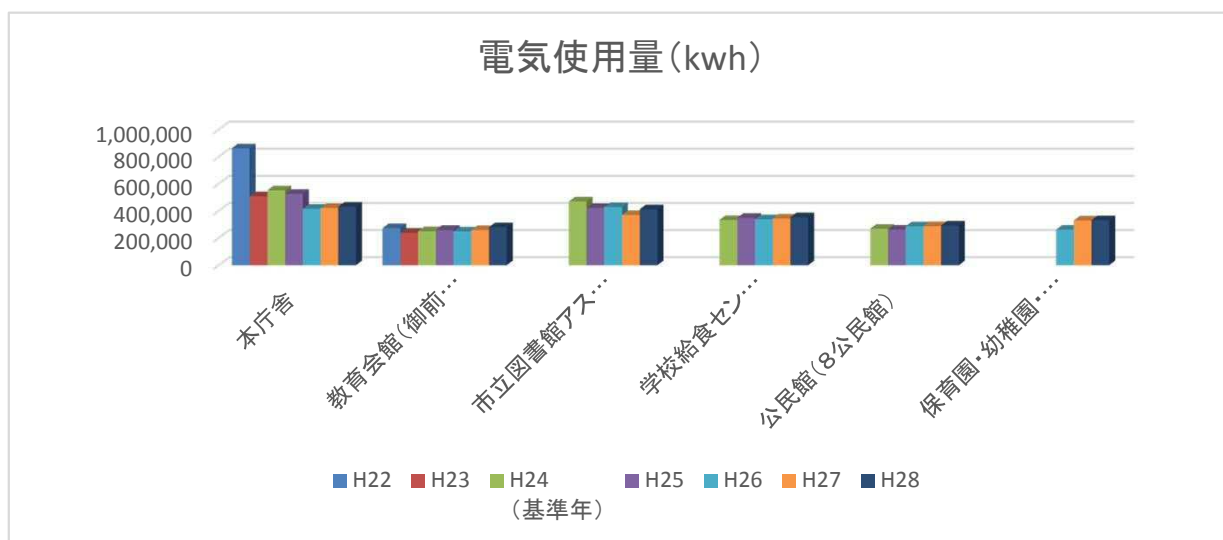
学校給食センターについては、施設が老朽化しているため電気の処理能力の低下により増加。

公民館については、利用者の増加に伴い増加。

引き続き、エコリーダーを中心に目標に向け見直しを検討します。

電気使用量(kwh) ※平成26年度まで係数「0.474」、平成27年度「0.497」、平成28年度「0.486」

kwh	H22	H23	H24 (基準年)	H25	H26	H27	H28
本庁舎	863,262	509,250	552,400	526,531	415,554	421,575	431,478
教育会館(御前崎支所)	273,698	239,325	250,405	260,082	249,309	259,058	280,410
市立図書館アスパル			469,869	421,820	429,044	370,036	412,989
学校給食センター (浜岡・御前崎)			334,090	349,222	340,631	345,488	354,217
公民館(8公民館)			269,213	262,591	287,284	288,109	293,736
保育園・幼稚園・こども園					262,263	330,253	332,191
計	1,136,960	748,575	1,875,977	1,820,246	1,984,085	2,014,519	2,105,021



○本庁舎の電気使用量について、基準年比で-28%削減しました。

しかし、前年度に比べると使用量が2.2%増加している。

また、平成24年度から照明器具のLED化を進めているが引き続きLED設備の更新を行っていきます。

全庁的にも増加傾向にあるため、所属部署ごと見直しを行い、エコリーダーを中心に省エネに取り組んでいきます。



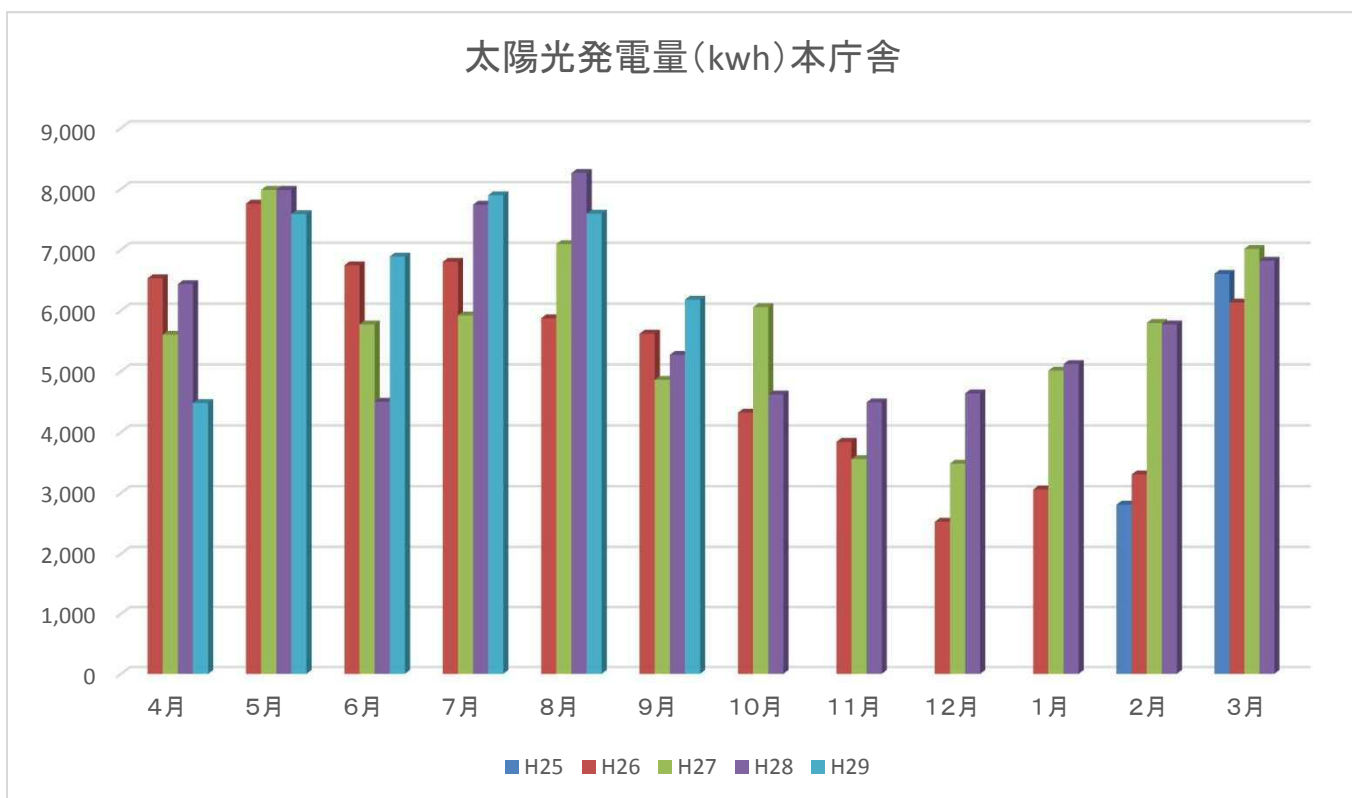
節電を促す表示ラベル



電力デマンド監視装置(財政課内)

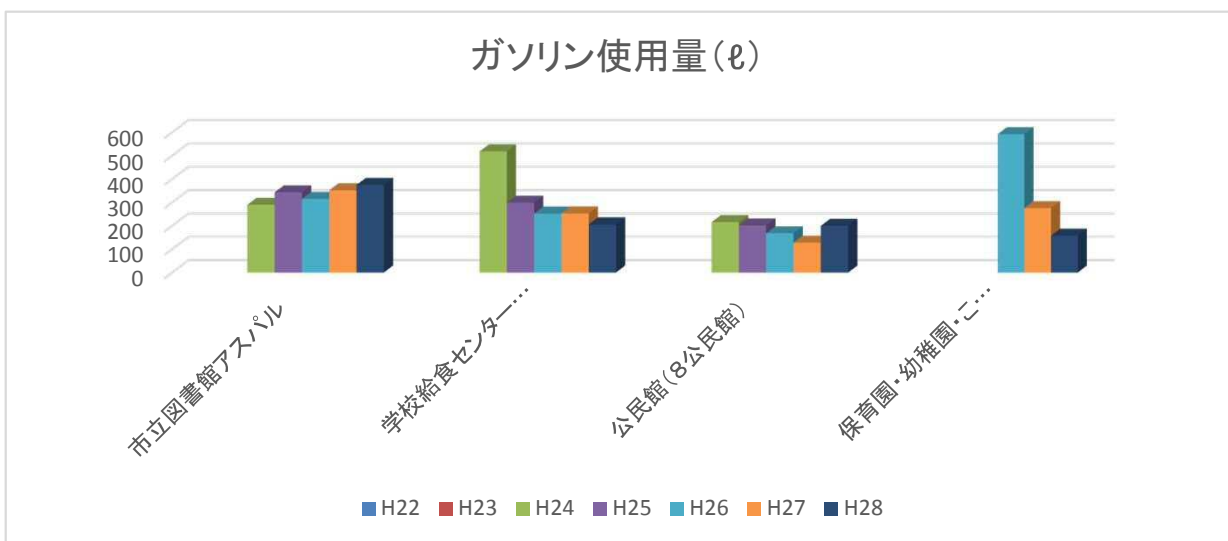
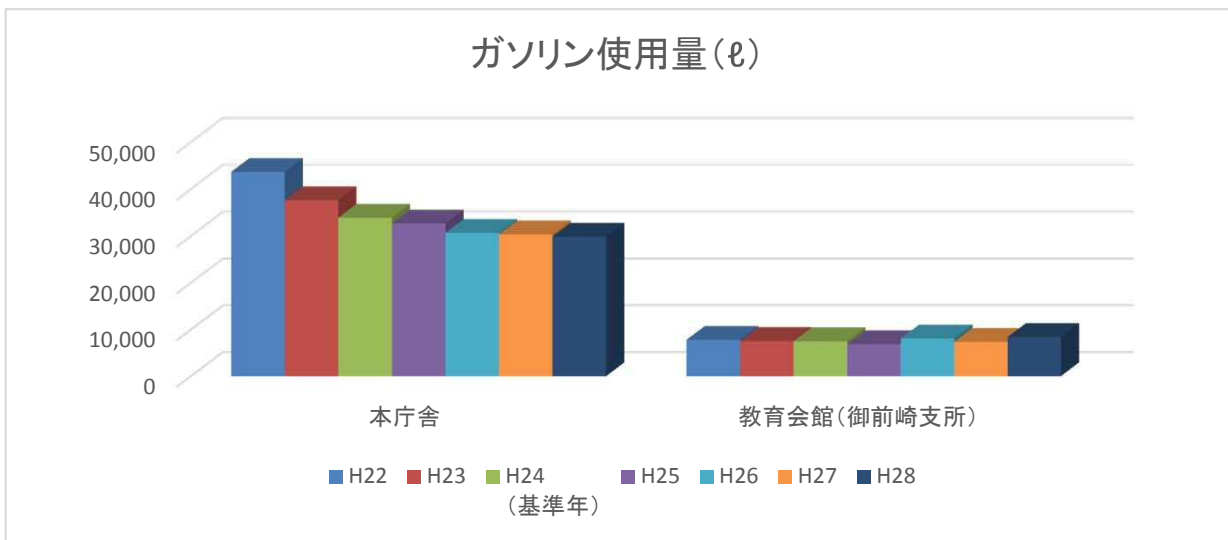
太陽光発電量(kwh) : 本庁舎

kwh	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H25											2,808	6,604	9,412
H26	6,530	7,759	6,744	6,802	5,874	5,620	4,322	3,841	2,527	3,057	3,304	6,130	62,510
H27	5,603	7,984	5,773	5,919	7,093	4,861	6,055	3,556	3,483	5,012	5,796	7,015	68,150
H28	6,435	7,984	4,500	7,741	8,261	5,272	4,621	4,491	4,638	5,120	5,772	6,818	71,653
H29	4,479	7,586	6,889	7,897	7,594	6,180							40,625
計	23,047	31,313	23,906	28,359	28,822	21,933	14,998	11,888	10,648	13,189	17,680	26,567	252,350



ガソリン使用量(ℓ)

ℓ	H22	H23	H24 (基準年)	H25	H26	H27	H28
本庁舎	43,653	37,634	33,896	32,658	30,661	30,354	29,872
教育会館(御前崎支所)	7,789	7,531	7,490	6,847	8,085	7,359	8,397
市立図書館アスパル			290	343	315	352	375
学校給食センター (浜岡・御前崎)			518	299	252	253	206
公民館(8公民館)			216	202	168	128	200
保育園・幼稚園・こども園					592	276	158
計	51,442	45,165	42,410	40,349	40,073	38,722	39,208



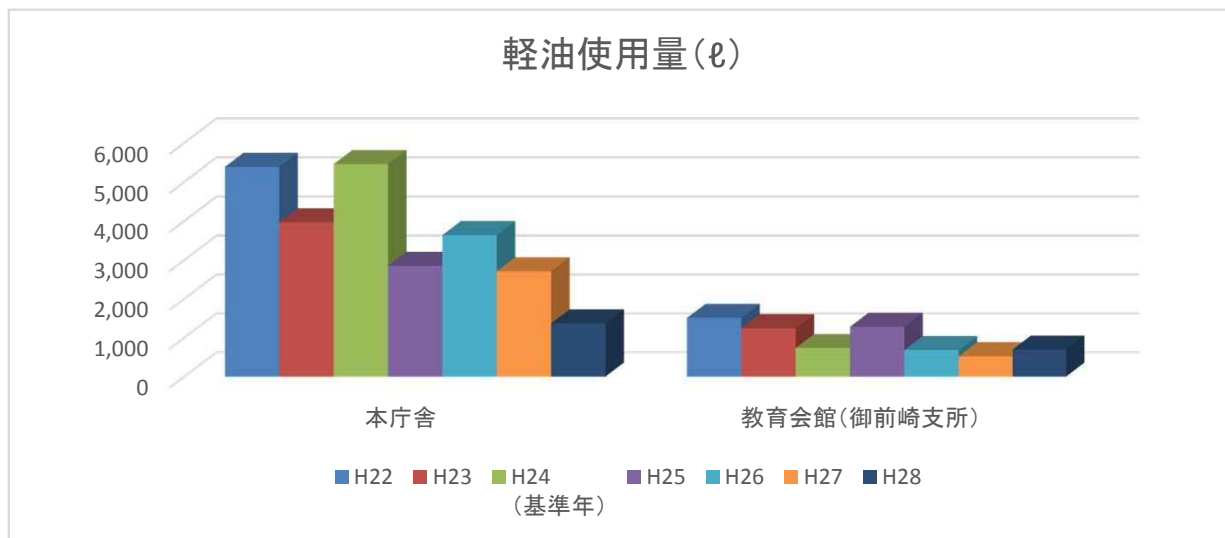
○ガソリンは公用車の燃料として使用されています。

公用車の購入や更新の際は軽自動車やハイブリッド車を購入しており、電気自動車も1台保有しています。本庁舎のガソリン使用量は職員のエコドライブの意識が高まってきたこともあり、基準年比で-16%となりました引き続きエコドライブを心掛け地球にやさしい運転を行います。



軽油使用量(ℓ)

ℓ	H22	H23	H24 (基準年)	H25	H26	H27	H28
本庁舎	5,388	3,968	5,457	2,855	3,642	2,715	1,373
教育会館(御前崎支所)	1,512	1,249	737	1,285	685	526	699
計	6,900	5,217	6,194	4,140	4,327	3,241	2,072



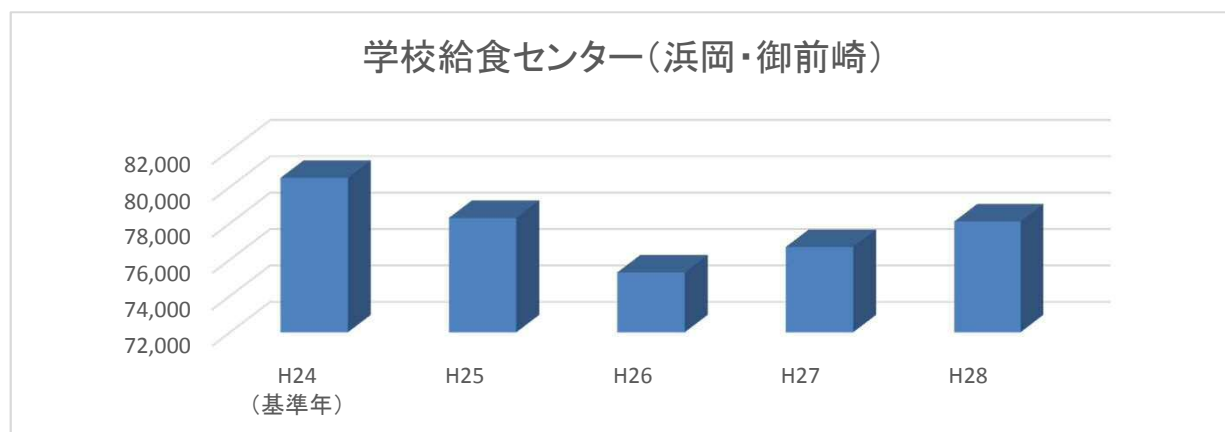
○軽油は本庁舎と支所の非常用ディーゼル発電機用燃料のため、停電の回数により大きく変わります。

今年度の使用量は基準年よりも大幅に減少しております。

緊急事態への対応のため、適切な補充を行うとともに、非常用発電機の省エネ化を検討します。

重油使用量(ℓ)

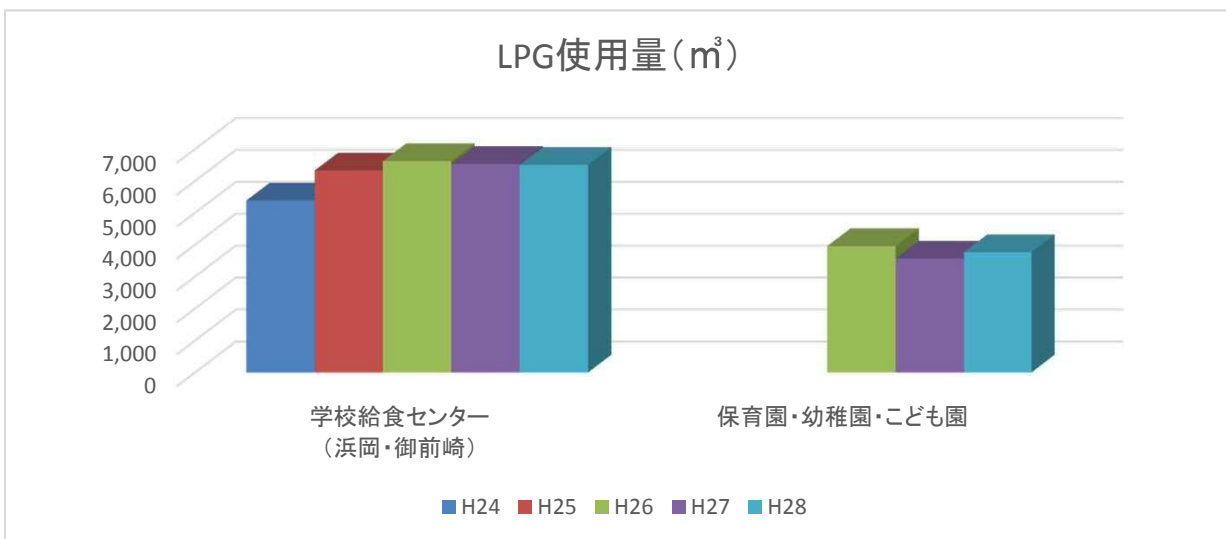
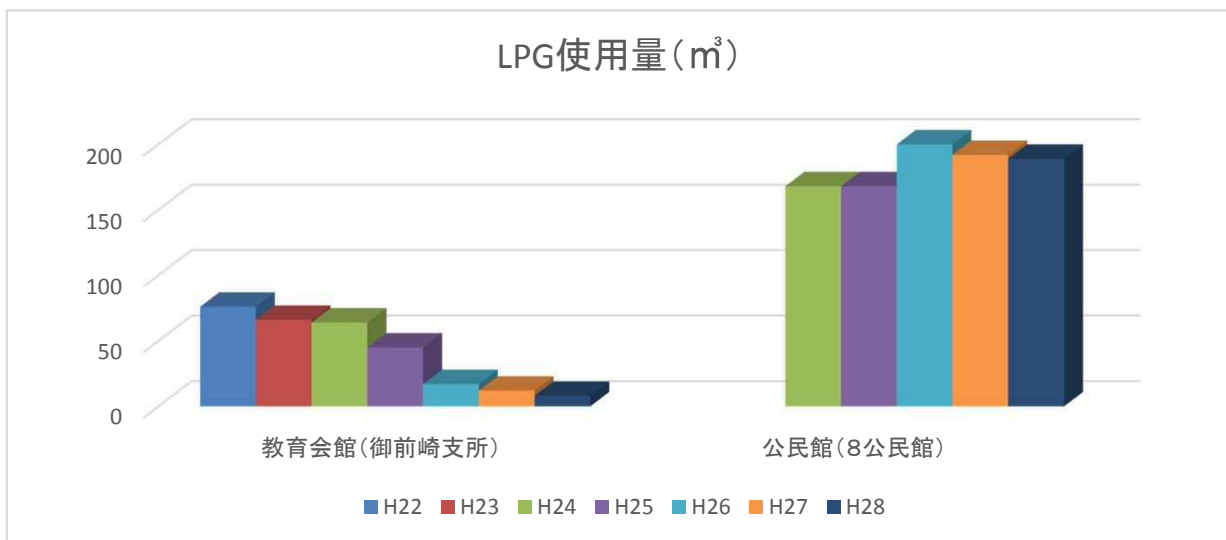
ℓ	H24 (基準年)	H25	H26	H27	H28
学校給食センター (浜岡・御前崎)	80,500	78,300	75,300	76,700	78,100
計	80,500	78,300	75,300	76,700	78,100



○重油は給食センターで使用されています。引き続き適切な使用と管理を行います。

LPG使用量(m<sup>3</sup>)

m <sup>3</sup>	H22	H23	H24 (基準年)	H25	H26	H27	H28	kg換算
教育会館(御前崎支所)	76	66	64	45	17	12	8.8	18.2
学校給食センター (浜岡・御前崎)			5,387	6,328	6,625	6,534	6,506	13,467.4
公民館(8公民館)			168	168	200	192	189.8	392.9
保育園・幼稚園・こども園					3,959	3,570	3,766	7,796
計	76	66	5,619	6,541	10,801	10,308	10,471	21,672



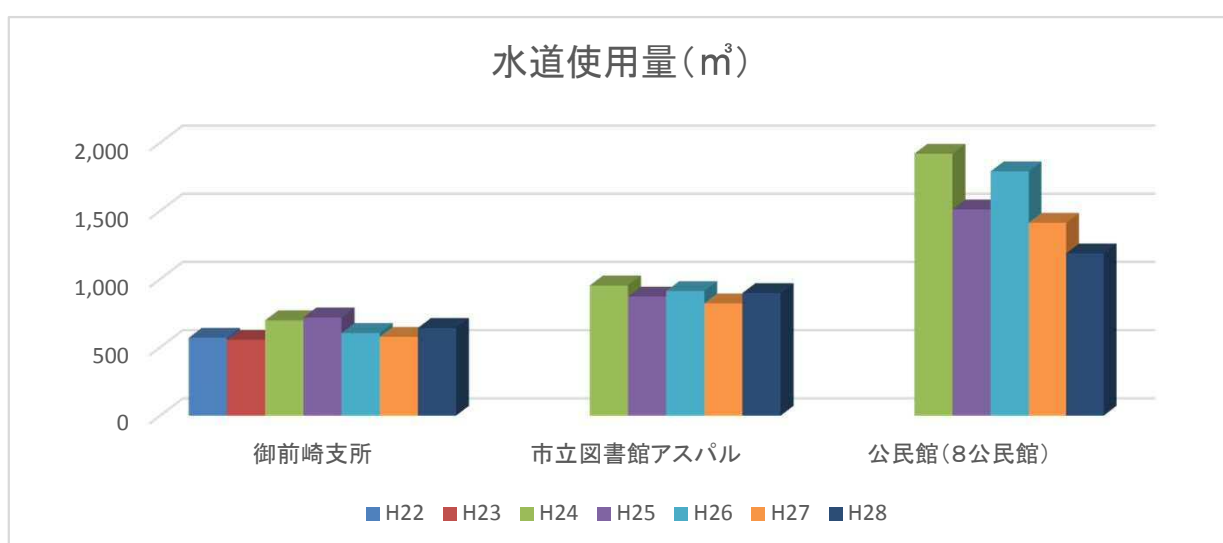
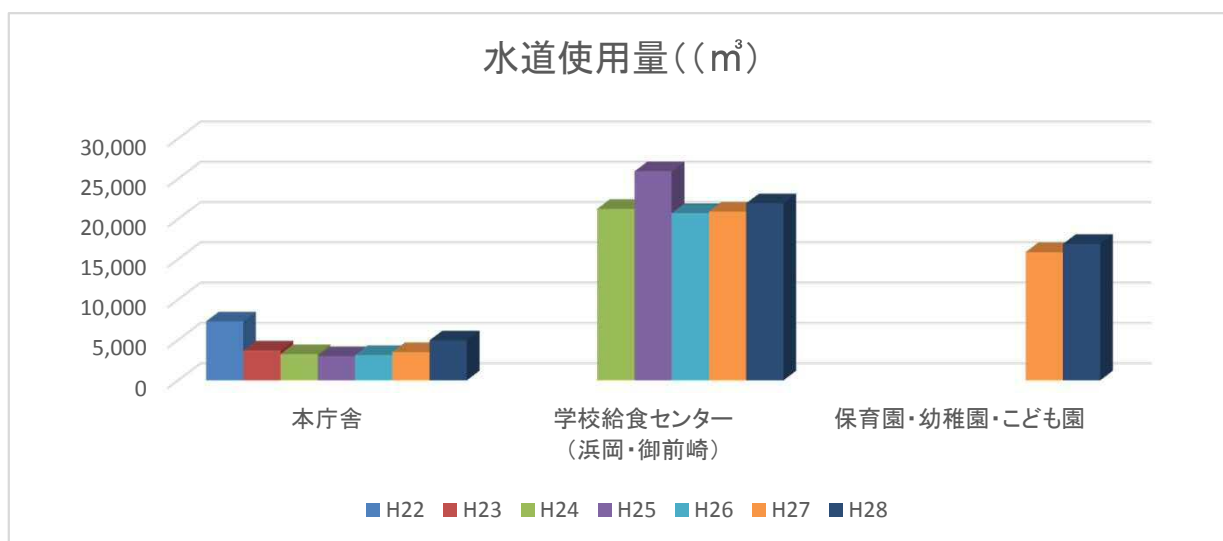
OLPGは給湯用の燃料として用いられています。

適切な使用を心掛け、無駄を省き減量していきます。

また、公民館については、施設利用者へ適切な使用の啓発を行います。

水道使用量(m<sup>3</sup>)

m <sup>3</sup>	H22	H23	H24 (基準年)	H25	H26	H27	H28
本庁舎	7,309	3,703	3,242	3,013	3,145	3,511	4,961
教育会館(御前崎支所)	570	555	698	719	605	577	642
市立図書館アスパル			953	872	912	822	898
学校給食センター (浜岡・御前崎)			21,273	25,932	20,746	20,953	21,966
公民館(8公民館)			1,920	1,511	1,791	1,413	1,189
保育園・幼稚園・こども園						15,900	16,913
計	7,879	4,258	28,086	32,047	27,199	43,176	46,569

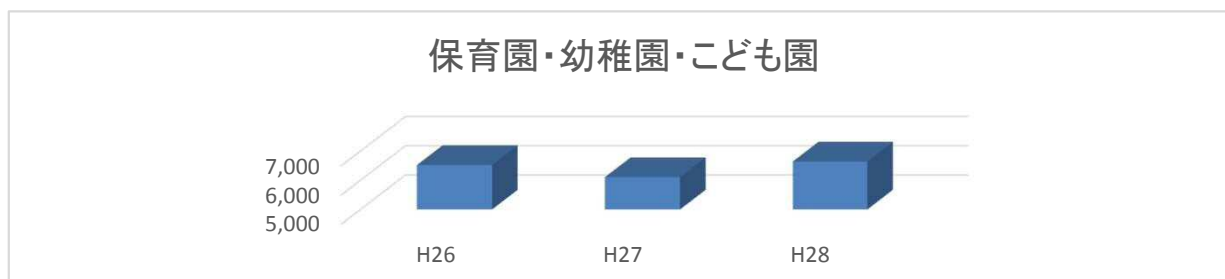


○本庁舎の水道使用量について、地下便所の見えない個所(地下配管)で漏水があったため使用量が増加しました。

施設管理課にて随時点検等を行い、被害が最小限となるよう管理を徹底していきます。

灯油使用量(ℓ)

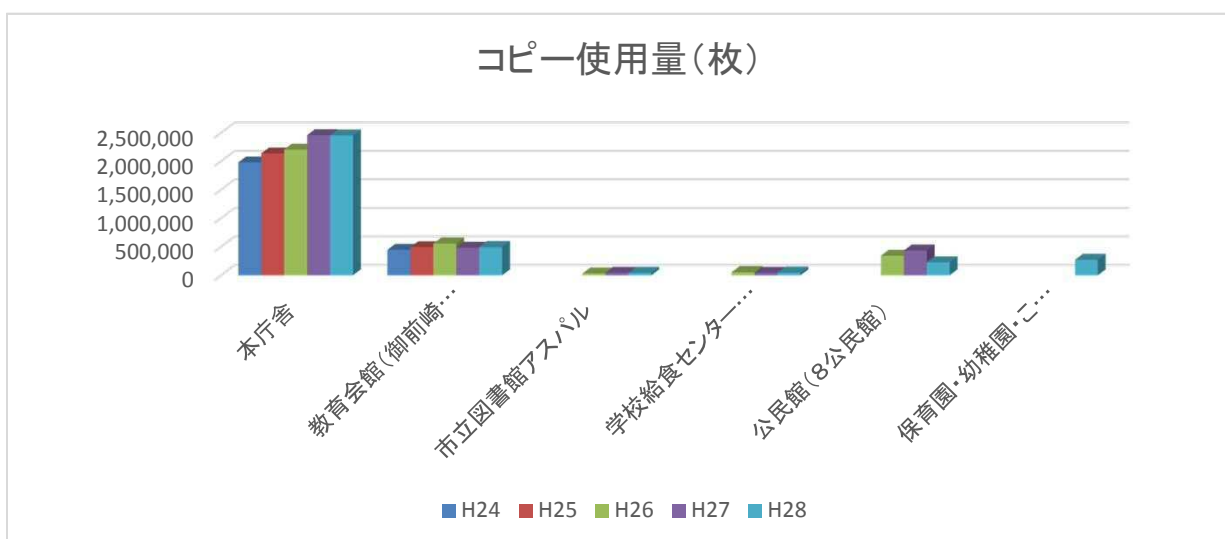
ℓ	H26	H27	H28
保育園・幼稚園・こども園	6,522	6,106	6,645
計	6,522	6,106	6,645



○灯油は各園で使用されています。引き続き適切な使用と管理を行います。

コピー用紙使用量(枚)

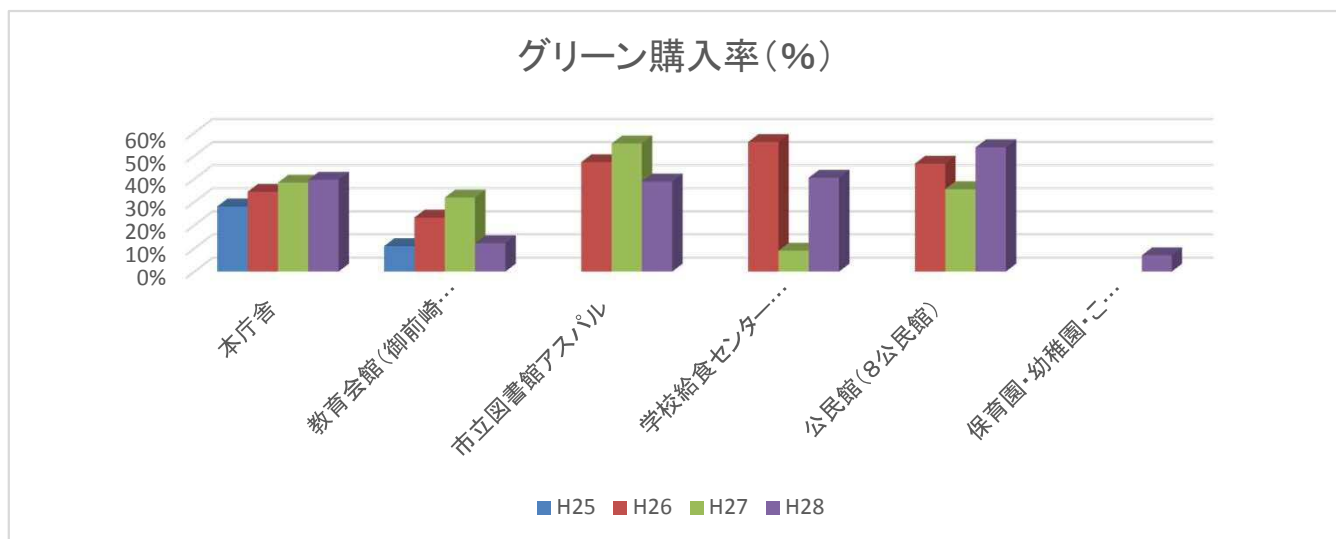
枚	H24	H25	H26	H27	H28
本庁舎	1,979,590	2,136,297	2,206,493	2,458,265	2,453,992
教育会館(御前崎支所)	447,291	492,607	556,027	486,410	494,827
市立図書館アスパル			33,856	44,669	44,192
学校給食センター (浜岡・御前崎)			55,990	46,003	47,716
公民館(8公民館)			343,487	433,203	229,270
保育園・幼稚園・こども園					273,145
計	2,426,881	2,628,904	3,195,853	3,468,550	3,543,142



○古紙の裏面活用、印刷物のデータ化を行い、紙使用量を削減します。

グリーン購入額(円)

円		H25	H26	H27	H28
本庁舎	合計額(円)	3,161,391	7,764,088	7,831,504	7,785,528
	グリーン購入率(%)	28.10%	34.44%	38.43%	39.60%
教育会館(御前崎支所)	合計額	452,069	1,475,766	927,133	916,294
	グリーン購入率	10.99%	23.34%	31.93%	12.21%
市立図書館アスパル	合計額		604,838	532,468	303,917
	グリーン購入率		47.27%	55.31%	38.88%
学校給食センター (浜岡・御前崎)	合計額		4,110,637	268,020	2,016,547
	グリーン購入率		56.00%	8.99%	40.54%
公民館(8公民館)	合計額		971,201	1,080,066	1,214,849
	グリーン購入率		46.62%	35.57%	53.67%
保育園・幼稚園・こども園	合計額				971,396
	グリーン購入率				7.01%
計		3,613,460	14,926,532	10,639,193	13,208,533



○庁舎、各施設における物品・サービス、購入・使用について意識を高め環境に配慮します。

## 【本庁舎】廃棄物排出量(kg)

単位: kg

種別	対応	H25	H26	H27	H28
白紙(コピー用紙)	リサイクル	429.6	525.6	570.6	586.6
新聞紙	リサイクル	1,085.1	1,167.2	1,223.1	1,494.2
ダンボール	リサイクル	832.2	786.9	926.6	1,023.8
雑誌	リサイクル	867.0	912.6	1,310.1	1,286.8
雑紙	リサイクル	2,492.0	2,499.8	2,981.3	3,792.2
守秘義務文書	リサイクル	993.7	1,070.8	1,643.3	1,977.4
	廃棄	4,318.7	1,783.6	10,162.4	3,152.9
金物類	リサイクル	97.3	17.2	46.0	117.9
ガラス類	リサイクル	86.6	8.0	41.3	24.9
ビニール・プラスチックごみ	リサイクル	194.9	146.4	160.4	235.7
蛍光灯	リサイクル	5.0	0.0	0.3	8.3
粗大ごみ	リサイクル	2.0	0.0	9.8	0.0
	廃棄	11.7	8.8	5.8	5.8
その他	リサイクル	12.5	27.8	5.4	3.6
	廃棄	12.5	0.0	9.0	2.1
可燃ごみ	廃棄	2,071.9	2,370.2	2,551.5	2,867.1
計		13,512.7	11,324.9	21,646.9	16,579.3

## 【教育会館(御前崎支所)】廃棄物排出量(kg)

単位: kg

種別	対応	H25	H26	H27	H28
白紙(コピー用紙)	リサイクル	184.0	134.5	24.5	20.0
新聞紙	リサイクル	101.5	289.0	340.6	295.5
ダンボール	リサイクル	34.0	114.0	238.0	27.0
雑誌	リサイクル	82.5	60.0	172.0	156.0
雑紙	リサイクル	190.0	88.5	360.5	245.0
守秘義務文書	リサイクル	246.7	332.0	411.0	225.1
	廃棄	0.0	0.0	9.0	0.0
金物類	リサイクル	0.0	0.0	0.0	4.0
ガラス類	リサイクル	0.0	0.0	0.0	0.0
ビニール・プラスチックごみ	リサイクル	40.0	37.0	39.2	10.0
蛍光灯	リサイクル	0.0	0.0	0.0	0.0
粗大ごみ	リサイクル	0.0	0.0	0.0	0.0
	廃棄	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	リサイクル	0.0	0.0	0.0	0.0
	廃棄	0.0	0.0	0.0	3.0
可燃ごみ	廃棄	40.0	55.0	213.0	276.5
計		918.7	1,110.0	1,807.8	1,262.1

## 【図書館】廃棄物排出量(kg)

単位: kg

種別	対応	H26	H27	H28
白紙(コピー用紙)	リサイクル	45.6	49.8	53.8
新聞紙	リサイクル	639.8	750.8	591.2
ダンボール	リサイクル	168.3	206.2	178.2
雑誌	リサイクル	939.0	525.2	662.6
雑紙	リサイクル	589.7	268.6	318.2
守秘義務文書	リサイクル	21.9	20.4	20.2
	廃棄	10.4	0.0	22.6
金物類	リサイクル	11.8	14.6	13.8
ガラス類	リサイクル	4.0	0.0	6.6
ビニール・プラスチックごみ	リサイクル	75.4	79.8	74.0
蛍光灯	リサイクル	2.0	7.2	0.0
粗大ごみ	リサイクル	0.0	0.0	0.0
	廃棄	3.4	0.0	0.0
その他	リサイクル	13.0	13.2	12.6
	廃棄	123.8	9.8	7.8
可燃ごみ	廃棄	1,362.7	631.0	873.0
計		4,010.8	2,576.6	2,834.6

## 【学校給食センター】廃棄物排出量(kg)

単位: kg

種別	対応	H26	H27	H28
白紙(コピー用紙)	リサイクル	41.1	26.9	26.6
新聞紙	リサイクル	314.3	276.6	222.1
ダンボール	リサイクル	20.4	7.9	10.4
雑誌	リサイクル	114.5	23.2	142.1
雑紙	リサイクル	30.6	2.4	5.6
守秘義務文書	リサイクル	0.0	0.0	0.0
	廃棄	156.0	0.0	0.0
金物類	リサイクル	4.6	0.0	0.0
ガラス類	リサイクル	0.0	0.0	0.0
ビニール・プラスチックごみ	リサイクル	0.2	0.0	0.0
蛍光灯	リサイクル	0.0	0.0	0.0
粗大ごみ	リサイクル	0.0	0.0	0.0
	廃棄	0.0	1.4	0.0
その他	リサイクル	0.0	0.0	0.0
	廃棄	156.0	0.0	0.0
その他(給食)	残差リサイクル	13,653.3	13,207.8	12,261.6
	廃油リサイクル	2,500.0	1,920.0	1,910.0
	廃棄	0.0	2,155.2	2,336.9
可燃ごみ	廃棄	19,194.7	19,290.9	20,326.2
計		36,185.7	36,912.3	37,241.5

## 【公民館】廃棄物排出量(kg)

単位: kg

種別	対応	H26	H27	H28
白紙(コピー用紙)	リサイクル	62.7	42.2	59.8
新聞紙	リサイクル	759.9	1,028.5	784.1
ダンボール	リサイクル	75.2	289.5	215.1
雑誌	リサイクル	81.8	33.8	89.8
雑紙	リサイクル	158.9	166.4	104.8
守秘義務文書	リサイクル	0.0	9.8	21.5
	廃棄	0.0	0.0	15.7
金物類	リサイクル	3.8	9.0	3.4
ガラス類	リサイクル	0.0	0.0	4.0
ビニール・プラスチックごみ	リサイクル	35.1	35.6	20.4
蛍光灯	リサイクル	0.6	2.6	5.8
粗大ごみ	リサイクル	0.0	0.0	0.0
	廃棄	0.0	0.0	0.0
その他	リサイクル	1.0	5.3	0.0
	廃棄	0.0	0.0	2.4
可燃ごみ	廃棄	531.6	749.0	772.6
計		1,710.6	2,371.7	2,099.4

## 【保育園・幼稚園・こども園】廃棄物排

単位: kg

種別	対応	H28
白紙(コピー用紙)	リサイクル	171.6
新聞紙	リサイクル	0.0
ダンボール	リサイクル	884.7
雑誌	リサイクル	347.6
雑紙	リサイクル	1,164.3
守秘義務文書	リサイクル	38.6
	廃棄	1.8
金物類	リサイクル	493.6
ガラス類	リサイクル	18.0
ビニール・プラスチックごみ	リサイクル	587.2
蛍光灯	リサイクル	3.1
粗大ごみ	リサイクル	1.7
	廃棄	922.8
その他	リサイクル	542.5
	廃棄	196.9
可燃ごみ	廃棄	8,606.8
計		13,981.2

分別の徹底や紙資源のリユース、リサイクルに取り組んでいます。

## 次年度の取組内容

今後も引き続き、紙類の分別を徹底し、リサイクルや有効活用に努め、廃棄物の削減を推進します。



拡大予定施設(小中学校・消防署)の取組実績(運用期間:平成29年4月～7月)

CO2排出量(kg-CO2)

kg-CO2	計 (4～7月)
小学校・中学校	131,757
消防署	38,841
計	170,598

電気使用量(kwh) ※平成28年度「0.486」

kwh	4月	5月	6月	7月	計 (4～7月)
第一小学校	8,000	9,179	10,659	17,191	45,029
浜岡東小学校	5,786	6,347	6,459	8,999	27,591
浜岡北小学校	6,423	5,550	6,099	7,808	25,880
御前崎小学校	7,816	7,672	10,235	12,622	38,345
白羽小学校	5,349	5,521	5,307	10,278	26,455
浜岡中学校	12,437	11,037	12,477	16,971	52,922
御前崎中学校	10,353	10,020	11,745	17,073	49,191
小中学校(計)	56,164	55,326	62,981	90,942	265,413
消防署	12,509	9,987	10,540	12,156	45,192
計	124,837	120,639	136,502	194,040	576,018

ガソリン使用量(ℓ)

ℓ	4月	5月	6月	7月	計 (4～7月)
第一小学校	0.00	27.00	0.00	29.30	56.30
浜岡東小学校	0.00	30.20	48.20	0.00	78.40
浜岡北小学校	27.54	28.58	28.70	29.36	114.18
御前崎小学校	0.00	36.34	0.00	18.78	55.12
白羽小学校	24.60	21.11	0.00	15.70	61.41
浜岡中学校	27.00	26.50	27.00	0.00	80.50
御前崎中学校	41.01	20.01	24.50	60.80	146.32
小中学校(計)	120.15	189.74	128.40	153.94	592.23
消防署	808	983	947	1,107	3,845
計	1,048	1,362	1,204	1,415	5,029

軽油使用量(ℓ)

ℓ	4月	5月	6月	7月	計 (4~7月)
第一小学校	0	0	0	0	0
浜岡東小学校	0	0	0	0	0
浜岡北小学校	0	0	0	0	0
御前崎小学校	0	0	10	0	10
白羽小学校	0	0	0	0	0
浜岡中学校	0	0	0	0	0
御前崎中学校	0	0	0	0	0
小中学校(計)	0	0	10	0	10
消防署	508	368	582	676	2,134
計	508	368	602	676	2,154

LPG使用量(m<sup>3</sup>)

m <sup>3</sup>	4月	5月	6月	7月	計 (4~7月)
第一小学校	5.7	2.2	4.0	1.0	12.9
浜岡東小学校	1.3	0.7	1.0	1.2	4.2
浜岡北小学校	0.0	0.0	0.7	0.2	0.9
御前崎小学校	3.8	4.3	7.4	4.3	19.8
白羽小学校	2.5	2.7	4.0	3.1	12.3
浜岡中学校	0.2	0.4	1.2	1.3	3.1
御前崎中学校	5.8	3.0	4.1	2.5	15.4
小中学校(計)	19.3	13.3	22.4	13.6	68.6
消防署	133	86	55	37	311
計	172	113	100	64	448

水道使用量(m<sup>3</sup>)

m <sup>3</sup>	4月	5月	6月	7月	計 (4~7月)
第一小学校	647		508		1,155
浜岡東小学校		192		810	1,002
浜岡北小学校		176		679	855
御前崎小学校		177		275	452
白羽小学校		230		312	542
浜岡中学校	551		387		938
御前崎中学校		349		2,788	3,137
小中学校(計)	1,198	1,124	895	4,864	8,081
消防署	265		303		568
合計	2,661	2,248	2,093	9,728	16,730

灯油使用量(ℓ)

ℓ	4月	5月	6月	7月	計 (4~7月)
第一小学校	0	0	0	0	0
浜岡東小学校	0	0	0	0	0
浜岡北小学校	0	0	0	0	0
御前崎小学校	0	0	0	0	0
白羽小学校	0	0	0	0	0
浜岡中学校	0	0	0	0	0
御前崎中学校	0	0	0	0	0
小中学校(計)	0	0	0	0	0
消防署					
計	0	0	0	0	0

コピー用紙使用量(枚)

枚	4月	5月	6月	7月	計 (4~7月)
第一小学校	14,647	15,162	14,936	12,973	57,718
浜岡東小学校	5,908	4,210	4,971	5,844	20,933
浜岡北小学校	6,876	5,722	4,959	5,308	22,865
御前崎小学校	6,707	5,114	6,298	5,016	23,135
白羽小学校	4,290	3,008	2,793	3,490	13,581
浜岡中学校	13,430	13,517	12,922	9,808	49,677
御前崎中学校	10,311	10,067	9,932	9,511	39,821
小中学校(計)	62,169	56,800	56,811	51,950	227,730
消防署	20,130	18,802	18,848	18,265	76,045
計	144,468	132,402	132,470	122,165	531,505

グリーン購入額(円)

円		4月	5月	6月	7月	計 (4~7月)
第一小学校	合計額(円)	83,240	93,286	46,876	48,715	272,117
	グリーン購入率(%)	16.60%	8.80%	10.00%	4.70%	10.60%
浜岡東小学校	合計額(円)	126,430	3,709	39,570	4,286	173,995
	グリーン購入率(%)	2.30%	4.30%	2.10%	33.50%	8.20%
浜岡北小学校	合計額(円)	49,864	41,542	8,666	5,131	105,203
	グリーン購入率(%)	10.40%	11.90%	6.60%	1.60%	8.20%
御前崎小学校	合計額(円)	21,852	299,528	31,648	118,669	471,697
	グリーン購入率(%)	4.60%	37.30%	12.50%	42.80%	26.10%
白羽小学校	合計額(円)	118,146	10,689	37,668	66,842	233,345
	グリーン購入率(%)	19.70%	2.70%	7.60%	23.90%	26.10%
浜岡中学校	合計額(円)	122,245	89,845	101,426	98,790	412,306
	グリーン購入率(%)	14.90%	39.00%	17.50%	20.20%	19.40%
御前崎中学校	合計額(円)	71,663	33,898	100,028	57,764	263,353
	グリーン購入率(%)	6.60%	7.50%	28.80%	19.20%	12.00%
小中学校(計)	合計額(円)	593,440	572,497	365,882	400,197	1,932,016
	グリーン購入率(%)					16.00%
消防署	合計額	179,892	55,682	28,051	49,269	312,894
	グリーン購入率	51.70%	18.60%	1.50%	15.00%	10.50%
計		1,366,773	1,200,677	759,816		4,176,927

【小学校・中学校】廃棄物排出量(kg)

単位: kg

		第一小	東小	北小	御前崎小	白羽小	浜岡中	御前崎中	合計
白紙(コピー用紙)	リサイクル	0.0kg	0.0kg	0.0kg	0.0kg	0.0kg	174.0kg	80.0kg	254.0kg
新聞紙	リサイクル	110.0kg	55.0kg	25.3kg	40.0kg	40.0kg	159.0kg	150.0kg	579.3kg
ダンボール	リサイクル	800.0kg	420.0kg	91.9kg	200.0kg	208.0kg	221.0kg	150.0kg	2,090.9kg
雑誌	リサイクル	150.0kg	85.0kg	32.2kg	600.0kg	252.0kg	27.0kg	100.0kg	1,246.2kg
雑紙	リサイクル	120.0kg	50.0kg	106.7kg	0.0kg	0.0kg	23.0kg	70.0kg	369.7kg
守秘義務文書	リサイクル	140.0kg	250.0kg	0.0kg	0.0kg	90.0kg	102.0kg	0.0kg	582.0kg
	廃棄	0.0kg	0.0kg	0.0kg	0.0kg	0.0kg	0.0kg	0.0kg	0.0kg
金物類	リサイクル	72.0kg	36.0kg	33.6kg	48.9kg	0.0kg	14.0kg	15.2kg	219.7kg
ガラス類	リサイクル	24.0kg	11.5kg	1.9kg	7.9kg	0.0kg	12.0kg	13.4kg	70.7kg
ビニール・プラスチックごみ	リサイクル	36.0kg	17.0kg	9.7kg	30.7kg	0.0kg	2.0kg	39.0kg	134.4kg
蛍光灯	リサイクル	8.0kg	4.0kg	0.0kg	0.0kg	0.0kg	5.4kg	13.2kg	30.6kg
粗大ごみ	リサイクル	0.0kg	0.0kg	0.0kg	0.0kg	0.0kg	0.0kg	0.0kg	0.0kg
	廃棄	0.0kg	0.0kg	0.0kg	0.0kg	0.0kg	0.0kg	0.0kg	0.0kg
その他	リサイクル	0.0kg	0.0kg	75.1kg	2.0kg	0.0kg	1.5kg	2.0kg	80.6kg
	廃棄	0.0kg	0.0kg	0.0kg	0.0kg	500.0kg	0.0kg	0.5kg	500.5kg
可燃ごみ	廃棄	600.0kg	281.0kg	131.7kg	356.5kg	—	47.0kg	438.3kg	1,854.5kg
計		2,060.0kg	1,209.5kg	508.1kg	1,286.0kg	1,090.0kg	787.9kg	1,071.6kg	8,013.1kg

【消防署】廃棄物排出量(kg)

単位: kg

種別	対応	H29(4月~7月)
白紙(コピー用紙)	リサイクル	73.5
新聞紙	リサイクル	73.6
ダンボール	リサイクル	103.7
雑誌	リサイクル	29.7
雑紙	リサイクル	26.1
守秘義務文書	リサイクル	0.0
	廃棄	0.0
金物類	リサイクル	21.6
ガラス類	リサイクル	29.1
ビニール・プラスチックごみ	リサイクル	83.9
蛍光灯	リサイクル	0.0
粗大ごみ	リサイクル	0.0
	廃棄	0.0
その他	リサイクル	0.0
	廃棄	40.0
可燃ごみ	廃棄	574.4
医療系産業廃棄物		33.5
計		1,089.1



ごみの計測



記録簿に記入

## 6 環境活動計画と取組結果

御前崎市では環境目標を達成するために、重点的に取り組む項目を「共通取組」と「各課重点取組」として挙げ、取組の徹底を図ります。

### 共通取組

<b>省エネルギー</b>	<b>結果</b>
◆ 昼光の利用による窓辺の消灯、昼休み若しくは職員不在時の室内フローア及び未使用の部屋やトイレの消灯など照明の適正管理を徹底して行う	○
◆ 離席時や長時間使用しない場合は、必ずノートパソコンのふたを閉じる。	○
◆ エレベーターの適正使用を徹底する。	○
◆ 冷暖房の設定温度は、冷房 28℃以上、暖房 20℃以下とする。	○
◆ 電化製品(テレビ・電気ポット等)は、必要最低限の使用にとどめるよう努める。	○
◆ ブラインドや窓などを調整し、自然光や風を利用する。	○
◆ クールビズ、ウォームビズを徹底し、使用電力を削減する。	○
◆ コピー機等の OA 機器は、使用後に省電力モードに切り替える。	△
<b>省資源(用紙類の使用量削減)</b>	<b>結果</b>
◆ 配布資料や事務書類を少なくする工夫をする。	○
◆ 両面印刷コピー、縮小印刷コピーを徹底する。	○
◆ 簡易な文書は、電子媒体を利用しペーパーレスに努める。	○
◆ ポスター・カレンダー等裏面が活用できる紙は、可能な限り利用する。	○
<b>節水、水の有効利用</b>	<b>結果</b>
◆ 公用車の洗車は必要最小限に留める。	○
<b>廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理</b>	<b>結果</b>
◆ 使用済み封筒を再利用する。(個人情報に注意して)	○
◆ 分別回収ボックスを適正に配置し、ごみの分別を徹底する。	○
◆ 雑紙のリサイクルを推進し、紙ごみの分別を徹底する。	○
◆ 詰替製品の利用や備品の修理等を行い、製品の長期使用に努める。	○
◆ コピー機、プリンターのトナーカートリッジの回収とリサイクルを進める。	○
◆ 再使用又はリサイクルしやすい製品を優先的に購入・使用する。	○
<b>交通に伴う環境負荷の低減</b>	<b>結果</b>
◆ 「エコドライブ 10 のすすめ」(急発進・急加速や空ぶかしの排除、駐停車中のエンジンの停止等)を実践する。	○
◆ 複数で同一目的の出張がある場合は、公用車の相乗りをする。	○
◆ 省エネ・排出ガス削減と健康づくりのため、職員の徒歩・自転車通勤の実践をする	△
◆ 公共交通機関の利用に努める。	△

<b>グリーン購入の推進</b>	<b>結果</b>
◆ 事務用品は、再生品、再利用品又はリサイクルしやすい製品など環境に優しい製品を購入する。	○
<b>事業、事務の効率化、合理化による取組</b>	<b>結果</b>
◆ 各施設間における文書や荷物の受渡しに連絡棚を利用する。	○
<b>環境への取組のための仕組み、体制の整備</b>	<b>結果</b>
◆ 関係法令等の最新情報を常に確認する。	○
◆ 関係法令等の改正に対応する手順を作成する。	△
◆ 必要な場合、委託・協力会社等に対し、作業手順や運用基準が徹底されるよう配慮する。	○
<b>化学物質対策</b>	<b>結果</b>
◆ 屋外での除草剤、殺虫剤の使用を削減する。	○
<b>職員の環境教育、環境活動の推奨等</b>	<b>結果</b>
◆ 各部署における環境への取組を確認する。	○
◆ 地域のボランティア活動等に積極的に参加し、協力や支援を行う。	△
◆ 市民等に発送する文書に、環境に配慮する内容を記述し、市民等の環境意識の高揚を図る。	△
<b>情報提供等</b>	<b>結果</b>
◆ 外部から市への苦情・相談書を作成し、対応結果等を記録する。	△



連絡棚の活用



紙ごみの分別・雑紙のリサイクル

平成28年度 本来業務に即した環境取組(1/6)

施設名	課名	係名	取組項目の概要	現状・課題	期待される環境負荷の低減効果
本庁舎	秘書政策課	秘書広報係	秘書政策課で所有している電気自動車(公用車)を有効的に活用する。また、遠方(静岡市等)の出張時にも利用を心がける。	主に市内において広報取材時に活用している。夏場や冬場はエアコン使用による電気の負荷が多く、航続距離が限られてくる。	無理のない範囲において庁舎内と同様に節電を心がけることで、節電+航続距離の増加が見込まれ、意識の高揚を図ることができる。また、電気自動車を活用することで、市民へのPRにもつながる。
		企画政策係	男女共同参画社会推進の一環として、毎週水曜日を「かえる日(ノ残業デー)」に設定し、定時退庁を実施する。	職員数の減少と業務量の増加に伴い、職員の時間外勤務時間が増加している。時間外勤務時間の増加は、職員の健康管理や家庭環境に悪影響を及ぼすおそれがある。	毎週水曜日に定時退庁を実施することで、時間外勤務に係る電気料等が抑制され、二酸化炭素の排出削減につながる。仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の実現により、職員の健康増進にもつながる。
		原子力政策室	年間を通じて実施される原子力関連施設の見学会等において、節電に関連した取組を促す。	原子力発電のみではなく、他の発電方法も比較し勉強する機会としてきたが、節電に関連した広報はされていないのが現状である。	年間を通じて多くの市民団体等が参加する見学会等において節電関連の取組もPRすることで、参加者の節電に対する意識の高揚が図られる。
	総務課	行政係	使用済封筒の再利用等にて、長3及び角2封筒の利用削減を図る。	庁舎内事務連絡等に未使用の長3及び角2封筒を使用している場合も少なくないと思われる。	封筒の使用枚数が減り、また、使用済の封筒再利用により資源の有効活用が図れる。しかし、未使用の封筒利用枚数が減少すると、1枚当たりの単価が上がることも予想される。
		人事給与係	職員研修に使用する公用車について、可能な場合は他の出張との乗り合わせとする。公用車をデスクネットに予約する際に目的地を明記する。乗り合わせについてインフォメーションにて周知する。	デスクネットに公用車の予約を入れる際、目的地を明記していないため、乗り合わせが可能か確認できていない。	出張に使用する公用車の台数を減らすことにより、二酸化炭素の排出削減につながる。
		情報管理係	電子申請可能件数を増やし、市民の利便性と申請場所までの交通に伴う燃料使用量及び二酸化炭素量の削減を図る。	申請可能件数が少なく、且つ、市民への周知が十分でないため、活用されていない。	申請場所まで自家用車を使用しない事による市民の燃料使用量及び二酸化炭素量の削減が期待できるとともに、市役所においては紙の使用量の減少が見込まれる。
	財政課	財政係 行革係 管財係	予算書閲覧の電子化	予算書の一般閲覧件数が多く、その都度対応するため業務に支障をきたしている。	電子化により、ホームページにて閲覧できるため、閲覧者が来庁しなくて済むため2酸化炭素排出を削減できる。また、来庁者が減少するため業務の効率化を図ることができる。
			空調機のフィルター清掃	空調機のフィルターにほこり等が溜まると空調機に負荷がかかり、かつ効率が悪くなる。	フィルターを定期的に清掃し、空調機の負荷を低減することで節電効果を高めることができる。
			庁舎内の照明をLED化	現在庁舎内の照明は蛍光灯になっている。省エネ化のため間引きを行っており明暗差がある。また、蛍光灯なので寿命が短く取替も頻繁にあり効率が悪い。	出力の低いLEDに交換することにより、省エネ化及び間引きを取止めることで、執務室の明暗差を解消できる。また、取替頻度が減るため事務の効率化を図ることができる。
	防災課	危機対策係	市で備蓄している長期保存食やペットボトル飲料水で期限が近付いた物について、方面隊・自主防災会に配布し訓練で活用してもらう。	防災訓練前の説明会において方面隊・自主防災会に配布し訓練で活用してもらい、市民の備蓄食糧への意識啓発につながっている。	期限切れで廃棄・焼却処分となる分のごみ排出量の削減につながる。
		生活安全係	消防団、交通指導隊への連絡の際はメールやFAX等の連絡手段を活用する。また印刷の際は、不要なカラー印刷、片面印刷を控え、両面印刷や縮小コピー(2アップ等)を活用して印刷用紙使用量の削減に努める。	防災課での印刷用紙使用量は前年度と比較して削減することができた。 (H26年度134,801枚→H27年度104,432枚) 今後も、取組の継続や印刷物を精査して電子データでの保管を増やして更なるペーパーレス化を推進する。	用紙・印刷代、可燃ごみ排出量の削減が図られる。
	市民税係	市民税係	確定申告会場にて電子申告(e-TAX)を推進する事により職員の業務を削減し、市民が申告会場へ来る負担を減らす。	電子申告(e-TAX)を推進していき、市民に電子申告を広める。(【申告会場 電子申告受付件数】H26:1066件→H27:1484件)	申告に係る職員の業務削減。(申告書入力、チェックの削減)市民への電子申告の啓発を行い、会場に来なくても申告を行える人の増加を促進する。
		資産税係	電子申告を引き続き推進することにより、紙による償却資産申告書の削減を図る。H29年度分申告の目標値450件(前年度比+15%)	平成22年度から電子申告を行っており、税理士を中心に電子申告がある。個人事業者によるインターネットの整備・電子申告の周知が必要となる。(件数H27年度分:317件→H28年度分:398件)	償却資産申告書の紙の削減が図れる。郵便料金、印刷費、申告受付時間等の削減が図れる。
		収納推進室	本税に延滞金がかかっている納付書の打出しを「滞納システム」から打ち出すのではなく、Suiteで打ち出すようにする。	滞納システム」から打出すと本税と延滞金が見えなくなり、別々の納付書に分かれてしまう。	納付書の打ち出し枚数の削減(Suiteだと本税と延滞金が見えなくなり、ひとつにまとまった納付書で打ち出される。)
	議会事務局 監査委員事務局	—	雑紙のリサイクル推進、裏面使用、メール、FAXの利用等	可燃ごみの減少とミスプリント等の裏面紙の有効利用	可燃ごみの排出量の削減と紙の使用量の削減ができる。
		—	本会議会議録の印刷製本を外注せず、事務局で最小限の印刷を行う。	本会議会議録は外注印刷を止め、事務局にて印刷製本を行っている。	ホームページでの公開もしており必要最小限の印刷部数とし、紙、インク、経費等の削減ができる。
		—	平成26年度に公用車をハイブリッド車の導入を行った。	ガソリン使用料の削減が図られた。	ガソリン使用の削減、CO2排出量の削減
	会計課	経理係	耐火書庫の退室時の消灯の徹底	耐火書庫の退室の際、消灯し忘れることがある。消灯の意識を高める必要がある。	不必要時の消灯により、電気使用量の削減を図る。
		検査係	交通における環境負荷の低減	公用車の使用による燃料使用と、運転により事故発生の危険がある。	公共交通機関を利用することで、CO2の削減と、維持費用の削減、交通事故の予防となる。



平成28年度 本来業務に即した環境取組(2/6)

施設名	課名	係名	取組項目の概要	現状・課題	期待される環境負荷の低減効果	
本庁舎	市民部	福祉課 子ども未来課	—	訪問などで福祉施設へ行った際や講演会等で事業所職員や利用者、市民に対してエコアクション21の取組内容を知り、市民に伝える。	エコアクション21の取組について伝わっていないため、環境に対する意識が低い。	市民や事業所職員、事業所の利用者へエコアクション21を周知することにより、その家族に対しても環境への意識向上が図られる。
			—	緊急時を除き訪問、調査、各種会議において公用車を利用する際は乗り合わせ等を行い公用車の運行を控える。また、本庁近辺の訪問については徒歩にて行う。	会議や訪問等では、各係や課をまたいで一緒の場に行くことが多く、関係各所と連携していく必要がある。	公用車の使用回数が減りガソリン消費の削減が図られる。
			—	業務上、様々な通知を出すことが多いため、通知先の対象者をなるべく正確に把握することに努める。	通知の必要のない方への郵送等が行われることがある。	印刷枚数・封筒使用量等が削減、及び郵送料の削減が期待される。
		市民課	戸籍係	使用済コピー用紙の活用、両面印刷、2アップでの印刷に心掛ける。印刷前に内容を再確認し、ミスプリントをなくす。	ミスプリントや確認資料用として印刷された使用済コピー用紙が多い。	コピー用紙、印刷代の削減。
			住民記録係	・マイナンバーカード交付を完全予約制にすることで、お客様の待ち時間を少なくする。 ・マイナンバーカードを使用してコンビニエンスストアでの証明書取得を推奨する。	完全予約制にすることで、スムーズな交付が可能となっている。	身近なコンビニエンスストアでの証明書取得により、市役所まで来庁しなくてもよくなり、ガソリン消費の削減につながる。
			国保年金係	①国保年金係のパソコン16台とプリンター4台の電力削減に努める。30分以上使用しない時は、電源をおとす。 ②4月から国保年金係が市民課に統合されたことにより、封筒、連絡票等の課名訂正について、シール、テプラ、ゴム印で対応する。	①パソコン16台とプリンター4台の電源を入れたままの状態となっているため、消費電力が大きい。 ②新しく課名変更した封筒等の印刷物を作成すると、印刷製本費がかかり、不要な封筒、用紙が発生する。	①電力削減 ②廃棄用紙の削減
		高齢者支援課	—	当課が市民に向けて行う事業の際にエコアクション21の取組について市民に伝える環境に対する意識の向上を図る。	おたっしや健康チェックや介護予防の講話や教室の際エコアクション21の取組に対する啓発を行っている。今年度も引き続き、市内にエコアクション21の取組を周知する。	エコアクション21の取組内容を分かりやすく市民に伝えることで、環境に対して意識的に取り組む市民を増やす。
			—	当課の業務である地域密着型サービス事業所(7事業所)への指導を通して啓発を行う。	市内にある事業所は認証事業所ではないことから、エコアクション21に対する啓発を行う。強制力はないため、事業所の自発的な取組を促すための工夫が必要。	事業所では紙おむつ、紙類、食べ残しなどの排出物が多くあり取組によりごみの分別や排出量の低減、リサイクルの促進が期待できる。また広い施設での節電を促すことでエネルギー消費の低減が期待できる
			—	各事業所に対する連絡方法の見直しを図る。	相手方からFAXなどで定期的に連絡をいただいている事業所に対し、必要時にこちらから連絡を取るよう調整する。	通信費、FAXなどの場合紙の使用を控え、エネルギー消費を下げるとともに、資源ごみの排出を抑える。
	健康づくり	地域医療係	名刺にエコアクション21のロゴマークを入れ環境への取組をPRする。	市内のエコアクション認定登録事業所数も少なく、エコアクションや環境活動について知らない方が多いのではないかと推測される。	機構改革により課名が変更となったため、例年より名刺を渡す機会が多くなり、名刺交換時に自己紹介と併せてエコアクションについてPRし、市役所が率先して環境への取組を地域へ波及させるとともに、職員自身の環境への意識をより高めるきっかけとなることを期待できる。	
		保健予防	①公用車を利用する際、同一場所に行く場合は乗り合いを心掛ける。また市内を巡回する場合は効率的な行路を使う。 ②健診で配布する資料の見直しと残量確認をし、必要な数のみ請求することで、不要となる資料を削減	①母子保健事業等で健康センターに行く場合、課の公用車2台～4台使用しているが、できる限り少ない台数で行くようにする。また、市内訪問等は、できるだけ地区をまとめて行くようにする。 ②昨年度も実施したが、昨年より事業の変更変更があった。それに伴い、さらなる見直しを実施し、不要となるものを削減する。	①公用車の出勤回数の削減、走行距離の減少によるガソリンの削減 ②ごみの削減により、ごみ焼却の際に出るCO2を削減する。	
		健康増進	健康教育や広報等で検診受診を促すとともに、他の医療機関と連携をとり、検診対象者を正確に把握することに努める。	検診の受診希望の有無が正確に把握されていないため、受診の必要がない方に受診券の送付がされている。また、同じ対象者に市役所と医療機関で別々に検診案内を送付しているため、郵送物が二重になっているものがある。	受診券の印刷枚数、封筒使用料、医療機関との協議により、郵送料が削減できる。	
		成長支援	①コピー用紙の再利用や印刷代の抑制に努める。 ②廃材等利用した教材検討を考える。	①コピーのサイズ、枚数違いがあったり、コピーしても不要になることもあり、裏紙の再利用を継続する必要がある。大量の印刷物はコピーするとコストがかかり過ぎる。 ②身近にある廃材等で簡単に作れる教材の検討は大切であると考える。	①コピー用紙、印刷代の経費削減ができる。 ②手軽に楽しく遊べるおもちゃや遊びを紹介することで親子のふれあい・育児の楽しさを紹介できる。	

平成28年度 本来業務に即した環境取組(3/6)

施設名	課名	係名	取組項目の概要	現状・課題	期待される環境負荷の低減効果	
本庁舎	都市建設課	—	植栽維持管理 (街路樹の剪定や除草)	街路に雑草が繁茂していると景観が損なわれ、ごみを捨てられる原因となる。	道路等の周辺環境の保全に努めるよう意識が高まる。 街路や道路にごみを捨てづらい環境の整備を行うことにより、街の環境悪化を防げる。	
		—	建設資材に係る資材の再資源化の促進	工事等で発生する廃棄物処理への関心を持つことや計画的な工期を組むことで余計な廃材を出さないようにする。	工期を計画的に立てることや廃材の処分量を明確にすることで無駄のない資材の利用、廃材の再生資源を有効活用できる。	
		—	エコドライブの推進	現場や出張が多いので車を使用する機会が多い。	エコドライブを心掛け、燃費の改善複数人での乗り合いで環境に配慮する。	
	管理課	施設管理係	自然公園、都市公園、市営住宅等市内の緑化推進及び保全に努める。	市営住宅、公園等には樹木が植えられ、市民の憩いの場となるよう整備されている。また、市内には80近い民間の緑化推進団体がある。公園、住宅の樹木は恒常的な植栽管理が必要で、専門業者との協力により管理を行なう。また、市内緑化団体には静岡県グリーンバンクの種子球根、苗木等の配布事業や緑の募金助成金事業を活用し、更なる緑化推進に努めてもらう。	市内の緑化を推進することでCO2の削減、地球温暖化防止につながる。	
		土地管理係	現場との往復時、アイドリングストップ、急発進をしない等、公用車のエコドライブに努める。	エコドライブの習慣化には、日常的な意識付けが必要である。	エコドライブの実践により、燃費向上が見込まれる。	
		営繕係	工事完成時に提出される完成図書は、可能な限り両面印刷等簡略化を図るよう受注者に引き続き依頼する。	工事関係書類の作成には多量の紙が使用されており、書類の厚みが増す要因である。受注者側の複合機等の環境により全てが可能とはならない。 補助事業は、会計検査の対象となる場合があるので、工事写真を紙で提出する必要がある。	受注者が使用する紙の量を削減することができる。 完成図書の厚みが減ることで保管が容易となり、執務環境の改善になる。	
	農村水産課	農村整備係	美しい海岸を守る(松林への薬剤散布、薬剤樹幹注入事業)	松くい虫被害や塩害により松林消失が進行している。	海からの塩分を含んだ風雨や飛砂を低減することにより、農地等への風害や塩害、津波被害等の減少、美しい景観の維持といった効果が得られる。	
		農水産振興係	農作物や生活に害を与える有害鳥獣などへの対策を行う。	市内全域の畑や樹園地で農作物等に害を与える有害鳥獣などの問題がある。	鳥獣の保護や狩猟の適正化を図ることにより、生物多様性の確保や保全が図られる。	
		農地係	人と自然がつながる農地を守る(「地産地消」を推進)	地域農業における、担い手不足、農業者の高齢化、農産物の価格低迷などにより、農業を取り巻く現状は、厳しさを増しており、経営面積が減少し耕作放棄地が増加している。	運搬にかかるエネルギー消費などによる地球温暖化などの問題と絡み、「地産地消」を推進することは、環境への負荷が少ないだけでなく、地域の農業活性化にもつながる。	
	商工振興課	商工振興係	マイバックの持参を行い、レジ袋の削減に協力します。	マイバック運動は定着してきている一方、企業側の「万引き防止」「顧客のニーズ」などの理由から、レジ袋の使用が多くなってきているが、ゴミ削減の為に、イベント等を通して啓発を行いたい。	ゴミの軽減。CO2の削減。	
		観光振興係	各イベントにおけるゴミステーションの見回り、場内放送での呼びかけなど来場者への指導を実施する。リサイクルの実施、活動への推進・協力を行う。	リサイクル容器(コップ・お皿)の検討。	ゴミ分別によるリサイクル資源の確保、CO2削減、温暖化防止。 来場者への意識付け。	
		企業港湾室	企業・各団体への通知文書を、郵送(紙)から電子化(メール)する。		電子化により、インク、紙、封筒、郵送料、郵送による燃料代、CO2の排出が削減できる。	
	環境部	環境下水道課	環境係	イベントを通じて環境推進のPR活動を実施する。 生ごみ処理機器の普及推進。 今年度目標20件。	各種イベント・大産業祭にて、ごみの分別方法等啓発を実施。 外国人等まだ分別方法がわからない方が多いため、自治会から苦情あり。 英語版パンフレットの作成。 平成24年度生ごみ処理機器補助金交付22件。25年度24件。26年度14件。27年度13件。 PR不足が課題。	ごみ分別指導・生ゴミ処理機設置を市民へ啓発することにより、ごみ量の軽減、苦情の減少が期待できる。
			環境係	E A21事務局として、エコリーダー等研修会を開催し、環境の意識付けを行う。 また、各種記録簿の漏れがないようチェックを行い、アドバイスをする。 エコリーダーに負担がかからないよう、記録簿等様式の改善を行う。 今年度園へ施設の拡大を行うが、認証までの支援・アドバイスを行う。	E A21についての知識向上、意識付けが必要と感じている。各課エコリーダー等の環境に対する意識の温度差がある。	E A21に対する不安をなくし、無理なく本来の業務ができれば各課の環境に対する意識の温度差がなくなり環境負荷への対策として効果が上がる。
			下水道係	下水道供用開始区域・農業集落排水区域の水洗化率の向上及び御前崎地区の合併浄化槽普及推進のため、各種イベント・課窓口にてパンフレット・ポスター等による啓発活動を実施。	供用開始区域における下水道への未接続戸数、また単独浄化槽の使用戸数が多い。 周辺住民から、道路側溝に流れる汚水の悪臭の苦情が出る。	水質浄化機能が向上及び、河川の水質汚濁防止となる。 家庭からの汚水が適切に処理されることにより街の衛生環境向上につながる。
水道課		施設整備係	水道事業基本計画に基づき、安定的な運営を背景に配水池築造や配水管の布設替え等を行い、安全でおいしい水の安定供給を目指す。 水道課で行う工事において、再生資材の積極的な活用を行う。	定期的な水質検査の実施、老朽管の更新等により適切な管理を行っていく必要がある。 環境型社会の構築のため、水道管布設工事等で発生する建設資材廃棄物の再資源化を積極的に行う必要がある。	安全でおいしい水の安定供給 再生資源を活用することで資源を無駄なく活用し、産業廃棄物を減らす効果がある。	

平成28年度 本来業務に即した環境取組(4/6)

施設名	課名	係名	取組項目の概要	現状・課題	期待される環境負荷の低減効果	
教育会館 (御前崎支所)	市民部	御前崎支所 市民窓口係	両面コピーや縮小コピー(2アップ等)の活用	支所受付文書の添付書類など、コピーが必要な場合に両面コピーや縮小コピー(2アップ等)を活用する。	用紙使用量、コピー機使用回数、ゴミの削減を図る。	
			控えとして保管する書類等のデータ化	支所内に控えとして保管する書類等については、コピー等せずに、データ化して保管する。	用紙使用量、コピー機使用回数、ゴミの削減を図る。	
	教育総務課	施設管理係	総務係	各園や学校に行くときは、複数の用件を同時処理するようにする。また、訪問時は配付物等を持っていく。	対象者が毎月変わるため、各園や学校の保護者の取りまとめが課題となっている。	各園や学校を通じて保護者に通知することにより、鏡文書・封筒・郵便料の削減となる。
			施設管理係	公用車管理点検	使用している公用車の法定点検は義務化され点検は実施しているが、使用走行距離等が多い車両に関しては早い点検を行う。関係されるタイヤの摩耗・オイル交換目安に注意してドロドロになる前にオイルの循環不良、エンジンの焼き付きをなくす。	エンジン音が静かになったり、またエンジンがスムーズに回転する事により、燃費向上につながる。
			幼児教育係	・古紙の裏面を再利用する ・印刷以外はPDF化する。	印刷・コピーしがちな書類が多々見受けられる。	・電子化に合わせ使用環境を変化していく。 ・裏面を再利用することで用紙の有効活用を行う。
	学校教育課	指導・学事係	小中学校に対し、エコアクション21の取り組みを伝える。広げる。	今後、小中学校にも認証取得範囲が拡大する。小学校はアースキッズ事業への参加やウミガメの飼育など環境への意識は高い。しかしエコアクション21の考え方はまだ浸透していないことが考えられる。	エコアクション21の理念取り組みを子どもたちが知り広げることで、保護者も環境への意識が高まることが期待される。	
	社会教育課	生涯学習係	生涯学習係	平成27年度から公民館が認証拡大施設となったため、今年度もエコアクション21の取り組みをスムーズに行えるよう情報交換やアドバイスをを行いながら、協力して環境教育の啓発活動を行う。	公民館はH27認証拡大施設のため、適宜情報交換・アドバイスが必要と思われる。	不特定多数の住民が集まる事業において環境啓発を行うことで、参加住民の環境への意識向上が見込める。
			スポーツ振興係	1.各種団体郵送物について、係内での調整により同封するよう心がける。また封筒も古紙配合率の高いものを使用する。 2.各種スポーツイベント等において終了時の清掃を呼びかける	1.市、教育委員会、体育協会主催時の通知関係は各々が通知している。 2.市民体育大会等は地区でゴミの管理がなされているが、個人参加のマラソン大会、マラソンでは終了時ゴミが残る。	1.同一人物への通知は極力同封することで鏡文書の枚数、封筒の削減を図る。 2.自然を利用したイベントも多く環境美化を図る。
			芸術文化係	小中学生や地域ボランティアが一体となり、積極的な清掃活動に取り組み、美しい海岸環境の保全に努める。また、ウミガメ保護活動を通して、環境問題への意識を高める。 歴史・文化資源の保護及び地域の文化振興や観光資源としての活用・継承を目指し案内板の整備、講座、展示の開催。	ゴミの海岸への漂着。海岸浸食。 市内には、国指定をはじめとする指定文化財、内陸部を中心に分布する埋蔵文化財、地域には伝統文化や風習が残っている。	海岸清掃により、豊かな自然の保護と共に、アカウミガメの産卵環境を維持する。 歴史、文化的遺産の再認識により、地域での保護活動の活性化を図る。

平成28年度 本来業務に即した環境取組(拡大対象施設)(5/6)

施設名	施設・公民館名	係名	取組項目の概要	現状・課題	期待される環境負荷の低減効果		
平成27年3月4日 拡大対象施設	教育委員会	図書館	図書係	図書館の不要になった資料を「リサイクル市」を開催することにより、市の施設や市民に配布し再利用(リユース)してもらう。	図書館では常に新しい資料を蔵書として受け入れているが、収蔵スペースは限られているので、利用価値が低下したものや利用が少なくなった資料は除籍を行っているが、そのままごみとして処分するのは環境対策の上で好ましくない。	除籍した資料は、まだ有用なものが多く、再利用(リユース)してもらうことにより、資源を有効利用することができる。	
			図書係	図書館の所蔵している「環境」をテーマとした資料を特別コーナーを設けて展示し、エコ活動のPRを図る。	環境や環境活動について、また当館の「エコアクション21」の活動について、まだ知られていないのでPRが必要。	一般に知られていない環境活動について、「テーマ展示」によるPRにより、来館する客に周知できる。	
		民間給食センター	—	学校給食食材に地場産物を活用する。梱包の簡素化・輸送距離減少が可能。	教育振興基本計画に食育充実推進・学校給食での地場産物活用取組が盛り込まれており、地元の食文化・地域再発見等の機会とする。『学校給食一口メモ(放送原稿)』等により身近な食材に興味を示されている。収穫時期が限定され市場品より高額な場合がある。	梱包の簡素化・輸送距離減少が可能。エネルギー消費の削減、燃料減少によるCO2排出削減が期待できる。	
			—	生ごみや食べ残しを肥料作りに提供する。	センターでの生ごみや学校からの食べ残しを、東進衛生センターへ搬入。そこで肥料に加工する。	生ごみ等の焼却量の削減。	
			—	食べ残しを減らす工夫。	献立をたてる時、子どもたちの食事環境を考慮し、栄養バランスについて配慮する。『学校給食献立表』、『学校給食センターだより』、『学校給食一口メモ(放送原稿)』等の発行により学校給食の意義や目標等をお知らせし、興味や意識を高める。	食べ残しの削減により、ごみ量が軽減できる。	
			—	学校給食調理後の廃油(植物油)の有効活用。	「資源環境型社会構築」、「環境負荷の軽減」を目的に、学校給食調理後の廃油(植物油)をディーゼル燃料に再生する業者が有償で回収。	廃油が燃料に再生される事でリサイクル資源の確保。雑入収入が見込まれる。	
			—	学校給食食材に地場産物を活用する。梱包の簡素化・輸送距離減少が可能。	教育振興基本計画に食育充実推進・学校給食での地場産物活用取組が盛り込まれており、地元の食文化・地域再発見等の機会とする。『学校給食一口メモ(放送原稿)』等により身近な食材に興味を示されている。収穫時期が限定され市場品より高額な場合がある。	梱包の簡素化・輸送距離減少が可能。エネルギー消費の削減、燃料減少によるCO2排出削減が期待できる。	
		御前崎給食センター	—	食べ残しを減らす工夫。	献立をたてる時、子どもたちの食事環境を考慮し、栄養バランスについて配慮する。『学校給食献立表』、『学校給食センターだより』、『学校給食一口メモ(放送原稿)』等の発行により学校給食の意義や目標等をお知らせし、興味や意識を高める。	食べ残しの削減により、ごみ量が軽減できる。	
			—	学校給食調理後の使用済食用油の有効活用	「資源環境型社会構築」、「環境負荷の軽減」を目的に、学校給食調理後の廃油(植物油)をディーゼル燃料に再生する業者が有償で回収。	廃油が燃料に再生される事でリサイクル資源の確保。雑入収入が見込まれる。	
			教育委員会(社会教育課)	池新田公民館	—	公民館施設利用者にエコアクション21の取り組み内容を伝え、なお一層の環境教育啓発活動を行う。	エコアクション21の内容が浸透されるよう環境に対する意識を高める。
	高松公民館			—	公民館にて施設利用者などに、エコアクション21の取り組み内容を伝え、なお一層の環境教育の啓発活動を行う。	エコアクション21内容が周知されてきているなか、なお一層きちんと伝えることで環境に対する意識を高めていく必要がある。	施設利用者にエコアクション21について啓発することに環境保全につながる。
	佐倉公民館			—	施設利用者へのエコアクション21への取り組みについて一層の周知を図ると共に、環境教育の啓発活動を行う	エコアクション21の周知がまだ不十分意識向上のためイベント等でPR	啓発することで住民意識が向上し、環境保全につながる
	比木公民館	—		昨年同様にイベントや、会合等で公民館利用する地域住民に対して、エコアクション21の取り組み内容である環境教育を伝える啓発活動を行う。	昨年1年間地域住民にエコアクション21の内容を伝えた北が、まだ十分に周知されていない。環境問題への関心はあるが、まだ意識の低い住民もいる。	地域住民にエコアクション21の取り組みを理解してもらい、環境問題への理解が得られ、意識向上へつながる。	
	朝比奈公民館	—		イベント、会合等を通じて、地域住民に環境推進についてPRすると共に、イベントに読み聞かせ等、環境教育の内容を取り入れる。	2年間、いろいろな場で地域住民にエコアクション21の内容を伝えてきたが、まだ浸透していないのが現状である。	地区住民の意識の向上が、図れる。	
		—		メモ用紙、空き箱等雑紙としてリサイクル、封筒の再利用等、可燃物の減少を図る。公民館利用者には、ゴミの持ち帰りの徹底を図る。	昨年1年間、意識しゴミの分別を実施した。ゴミ分別をはっきりさせるため、ひきつづき実施する。公民館利用者の意識がまだ不十分である。	紙の削減、可燃物の削減につながる。	
	新野公民館	—		不要な照明等の消灯	高齢者等の使用時、エアコンの消し忘れが時々ある。	電気使用量の削減	
御前崎公民館	—	雑紙のリサイクル推進、会議資料、案内資料等を削減する。メール等を利用することにより削減できる。		ミスプリント有効利用ができていない。シュレッダーにかけても可燃ごみとして出してしまうのでリサイクルできていない。	可燃ごみの排出量の削減と紙の使用量の削減また郵送料も削減できる。		
白羽公民館	—	①施設利用者へのエコアクション21の周知、紙類の分別の徹底、節電・節水の呼び掛け。 ②施設利用があつたらトイレ等見回り、特に水の止め忘れに注意を払う。		①紙同志の分別が不完全。 ②レバー式の蛇口のところでは、レバーの戻しが不完全で水が止まっていないことがある。	①周知の継続により、意識の定着化が期待できる。 ②無駄な水の使用量を減らす。		

平成28年度 本来業務に即した環境取組(拡大対象施設)(6/6)

施設名	園名	係名	取組項目の概要	現状・課題	期待される環境負荷の低減効果
平成29年3月4日 認証・拡大施設	池新田幼稚園		資源リサイクル	保護者に呼び掛け、古紙、段ボール、アルミ缶を随時園に持ってきてもらっているが、さらなる啓蒙が必要である。	啓発することで、保護者のリサイクルへの意識の向上とゴミの削減。
			子ども達もゴミの分別	今年度から、子ども達が作ったリサイクルボックスを利用している。さらに子どもが自分たちで分別に心掛けるように工夫していく。	子ども・職員の分別に対する意識の向上とゴミの削減。
			電気・エアコン・ガスストーブの利用を少なくし、節電する	室内の電気はこまめに消すように心掛けている。設定温度を決めて、エアコン、ガスストーブを使用する。	エネルギー使用量の削減。
	高松幼稚園		ミニリサイクルの推進	ミニリサイクルへの呼びかけをしているが、個人差が大きい。保護者への呼びかけはしているが、子どもへも呼びかけることで、親子での、意識を高めていきたい。	家庭のリサイクルへの意識の向上とゴミの削減
			室内のごみ箱に、子ども達にわかり易く、分別表示をし、分別への気持ちをも高める。	「これ、燃えるごみ?」と、自分なりに判断できずにいる子も多い。子どもたちに、わかり易い分別表示を工夫し、自分で、分別しようとする、意識を高めていきたい。	園児・職員の分別再利用への意識の向上とゴミの削減
			節水に心掛ける。	水の出しすぎ等、子どもに、適度な水の量を知らせている。洗濯は、少量の場合は、園全体で洗濯することにより、節水に心掛ける。	職員の節水への意識向上
	白羽幼稚園		分別表示をし、資源の再利用の意識づけを進める	子ども達が見て分かりやすい表示をつけたり、色別にしたりし、分別しやすく、意識付けができる工夫をする。また、各クラスバラバラの表示を園で統一することで、より子供たちがわかりやすく、分別できる配慮をする。	園児・職員の分別再利用への意識の向上
			ミニリサイクルの推進	ミニリサイクルへの呼びかけ	家庭のリサイクルへの意識の向上とゴミの削減
			節水コマを取り付け、節水に心がける	水遊びが増えると、水の使用量が増える。子どもたちが思い切り遊べると共に節水にも心掛けられるよう、節水コマを外の水道に設置する。	節水コマをつけることで、節水の期待ができる
	浜岡保育園		リサイクル資源の分別	紙類、段ボール等再利用できる物は大きさや形を揃えるなどして利用しやすいように整理する。ゴミ、不燃物、リサイクル資源物等の分別を徹底し、可燃物削減を推進する。	リサイクルへの意識の向上とゴミの削減
			節電の推進	保育時間後の業務については、なるべく職員室で行うようにする。保育室の室温、湿度の計測に心がけ、窓の開け閉め等の調節を心がけたりグリーンバンク事業(緑のカーテンプロジェクト)への参加	節電効果が期待できる
			リサイクルボックスの設置	園内各箇所にリサイクルボックスを設置し、子ども達と共に職員の意識を高める。	園児・職員の分別再利用への意識の向上
	白羽保育園		保護者に呼び掛けアルミ缶の回収	保護者が正門に設置した、アルミ缶の回収に協力してくれているが、さらなる啓蒙をしていながら、アルミ缶回収を推進していきたい。	家庭のリサイクルへの意識の向上とゴミの削減
			園児一人一人もごみの分別(環境教育の推進)		分別に対する意識の向上とごみの削減
			給食の残食		
	さくらこども園		リサイクル物の収集	保護者に呼び掛け、古紙、段ボール、アルミ缶を随時園に持ってきてもらっている。さらなる啓蒙をしていく。	家庭のリサイクルへの意識の向上とゴミの削減
			ごみの分別	園児に理解できる範囲で、資源の大切さを知らせたり、ごみの分別箱に見て分かりやすい表示を付けたりし、子ども達や職員のごみの分別につなげる。	園児、職員の分別再利用への意識向上。
			節電・節水を心がける。	電源スイッチ、手洗い場等に節電節水シールを貼り、職員の意識を高める。	電気、水道の使用削減。
	北こども園		資源リサイクルの推進	保護者に呼びかけたり、地域にポスターを貼らせてもらったりしてリサイクル活動への協力や推進をはかっていく。	リサイクルへの意識の向上とゴミの削減
			節電の推進	「節電」の表示をし、職員の意識を高める。また、グリーンカーテンを設置するなどして室内の節電に努める。	電気の使用削減
			ごみの分別	園児に理解できる範囲で、資源の大切さを知らせたり、ごみの分別箱に見て分かりやすい表示を付けたりし、子ども達や職員のごみの分別につなげる。	園児・職員の分別再利用への意識の向上
	御前崎こども園		節電、節水を意識し、使用量を毎月、掲示して節電、節水に取り組む。	電源スイッチ、手洗い場等に節電節水シールを貼る。電気、水の使用量をグラフ化し、視覚的に明確化することで、職員の意識を高める。	電気、水道の使用削減。
			ごみの分別	園児に理解できる範囲で、資源の大切さを知らせたり、ごみの分別箱に見て分かりやすい表示を付けたりし、子ども達や職員のごみの分別につなげる。	園児、職員の分別再利用への意識向上。
			リサイクル活動への推進	保護者に月1回のミニリサイクルと資源回収の呼びかけをしているか各地域の協力も呼び掛けていく。	保護者のリサイクルへの意識の向上とごみの削減。地域を巻き込んだリサイクルへの意識向上。

平成29年度 本来業務に即した環境取組(1/8)

施設名	課名	係名	取組項目の概要	現状・課題	期待される環境負荷の低減効果
本庁舎	総務課	行政係	使用済封筒の再利用等にて、長3及び角2封筒の利用削減を図る。	庁舎内事務連絡等に未使用の長3及び角2封筒を使用している場合も少なくないと思われる。	封筒の使用枚数が減り、また、使用済の封筒再利用により資源の有効活用が図れる。しかし、未使用の封筒利用枚数が減少すると、1枚当たりの単価が上がることも予想される。
		人事給与係	職員研修に使用する公用車について、可能な場合は他の出張との乗り合わせとする。公用車をデスクネットに予約する際に目的地を明記し、乗り合わせについてインフォメーションにて周知する。	デスクネットに公用車の予約を入れる際、目的地を明記していない場合もあり、乗り合わせが可能か確認できていない。	出張に使用する公用車の台数を減らすことにより、二酸化炭素の排出削減につながる。
		秘書広報係	総務課で所有している電気自動車（公用車）を有効的に活用する。また、遠方（静岡市等）の出張時にも利用を心がける。	主に市内において広報取材時に活用している。夏場や冬場はエアコン使用による電気の負荷が多く、航続距離が限られてくる。	無理のない範囲において庁舎内と同様に節電を心がけることで、節電+航続距離の増加が見込まれ、意識の高揚を図ることができる。また、電気自動車を活用することで、市民へのPRにもつながる。
		情報管理係	電子申請可能件数を増やし、市民の利便性と申請場所までの交通に伴う燃料使用量及び二酸化炭素量の削減を図る。	申請可能件数が少なく、且つ、市民への周知が十分でないため、活用されていない。	申請場所まで自家用車を使用しない事による市民の燃料使用量及び二酸化炭素量の削減が期待できるとともに、市役所においては紙の使用量の減少が見込まれる。
	企画政策課	経営戦略係	人口減少対策の一環として市内に住宅を取得した人に対して補助を実施している。	平成27年度末の人口33,488人に対し平成28年度末の人口は260人減と、平成17年度以降人口減少が続いている。環境負荷の小さい住宅の建設が必要である。	新規の住宅取得者が、新エネルギー、省エネルギー機器の導入により環境影響負荷が軽減される。
		協働推進係	外国人の環境に対する意識の向上を図るため、イベント開催時や通訳業務の中で啓発活動を行う。	日本と外国では環境に対する意識の違いが見られるため、市内在住の外国人にも市の取り組みを知ってもらうことが必要である。	人口の2.5%を占める外国人の環境に対する意識を高めることで、外国人のエコ活動への取り組みを促す。
		企画係	出張時等における環境負荷の軽減。	出張や外出時のほとんどは公用車を使用している。公共交通機関の利用できる地域への移動は公共交通機関を利用する。	公共交通機関を利用することにより、CO2や公用車の維持費用の削減、また交通事故防止を図ることができる。
	エネルギー政策課	原子力政策係	年間を通じて実施される原子力関連施設の見学等において、節電に関連した取り組みを促す。	原子力発電のみではなく、他の発電方法も比較し勉強する機会としてきたが、節電に関連した広報はされていないのが現状である。	年間を通じて多くの市民団体等が参加する見学会等において節電関連の取組もPRすることで、参加者の節電に対する意識の高揚が図られる。
		エネルギー政策係	住宅用新エネルギー・省エネルギー機器の導入促進を図る。	平成28年度は、185件の補助金を交付した。機器導入による効果を検証する必要がある。	新エネルギー・省エネルギー機器の導入を図ることで、地球温暖化の防止および資源の有効利用を図ることができる。
	財政課	財政係 契約係 資産経営係 営繕係	予算書閲覧の電子化	予算書の一般閲覧件数が多く、その都度対応しているため業務に支障をきたしている。	電子化により、市HPにて閲覧可能となり、閲覧希望者が来庁する必要がなくなるため、二酸化炭素排出量を削減できる。
			空調機のフィルター清掃	空調機のフィルターにちり・ほこり等が蓄積することにより、装置本体へ負荷がかかる、空調の効率が悪くなるといった悪影響がでる。	フィルターを定期的に清掃し、空調機の負荷を軽減することで節電効果を高めることができる。
			庁舎内照明のLED化	現在庁舎内の照明は蛍光灯を使用しているが、省エネ化のため間引きをしており明暗差がある。また蛍光灯は寿命が短く、取換作業が頻繁に発生し効率が悪い。	出力の低いLED照明に交換することにより、省エネ化及び間引きをとりやめることで、執務室の明暗差を解消できる。またLED照明は蛍光灯と比較し長寿命であるため、取替頻度も減り、効率化を図ることができる。
			印刷室印刷機の更新	使用済みマスターが可燃ゴミとして排出される。	マスターを使用しないインクジェット式の印刷機を導入、可燃ゴミの削減が可能となる。
	税務課	資産税係	電子申告を引き続き推進することにより、紙による償却資産申告書の削減を図る。H30年度分申告の目標値620件（前年度比+15%）	平成22年度から電子申告を行っており、税理士を中心に電子申告がある。個人事業者によるインターネットの整備・電子申告の周知が必要となる。（件数H28年度分：398件⇒H29年度分：546件）	償却資産申告書の紙の削減が図れる。郵便料金、印刷費、申告受付時間等の削減が図れる。
		市民税係	確定申告会場にて電子申告（e-TAX）を推進する事により職員の業務を削減し、市民が申告会場へ来る負担を減らす。	電子申告（e-TAX）を推進していき、市民に電子申告を広める。（【申告会場 電子申告受付件数】H27：1484件⇒H28：1,722件）	申告に係る職員の業務削減。（申告書入力、チェックの削減）市民への電子申告の啓発を行い、会場に来なくても申告を行える人の増加を促進する。
		管理収納係	本税に延滞金がかかっている納付書の打出しを「滞納システム」から打ち出すのではなく、Suiteで打ち出すようにする。	滞納システムから打出すと本税と延滞金が別々の納付書に分かれてしまう。	納付書の打ち出し枚数の削減（Suiteだと本税と延滞金が一つにまとまった納付書で打ち出される。）

## 平成29年度 本来業務に即した環境取組(2/8)

施設名	課名	係名	取組項目の概要	現状・課題	期待される環境負荷の低減効果	
本庁舎	危機管理部	災害対策係	市で備蓄している長期保存食やペットボトル保存飲料水で期限が近い物を各方面隊や自主防災会に配布し訓練で実際に食していただき、有効に活用してもらう。	防災訓練前の説明会において各方面隊や自主防災会に配布し訓練で活用してもらうことにより、市民の備蓄食糧の使用や災害時の備えなど意識の高揚を図る。	期限切れで廃棄・焼却処分となる分のごみ排出量の削減につながる。処分費用のコストダウンになる。	
		危機管理課 原子力防災係	雑紙のリサイクル推進し、コピーは裏面を使用を推進していく。関係団体や関係企業にはメールやFAX等を利用して通知していく。	可燃ごみの減少を図り、プリントミス等の裏面紙の有効利用を行う。関係団体や企業には積極的にメールやFAXを利する。	可燃ごみの排出量削減と用紙の使用量の削減が期待できる。	
		交通防犯係	交通指導隊や交通安全会への連絡の際はメールやFAX等の連絡手段を活用する。また印刷の際は、不要なカラー印刷、片面印刷を控え、両面印刷や縮小コピー（2アップ等）を活用して印刷用紙使用量の削減に努める。	文書決裁については紙決裁を厳選して使用するようにし、基本的には電子決裁を使用してペーパーレス化を推進する。	用紙削減、印刷代削減、可燃ごみ排出量の削減がそれぞれ図られる。	
	市民課	住民記録係	転入者に配布する書類に、市役所での環境取組に関するチラシを入れる。また、窓口封筒にはエコアクション21のロゴマークのスタンプを押し周知する。	エコアクション21の取り組みについて市民へ広報し、さらに環境への意識を高めたい。	市役所での環境取組について市民にPRすることで環境への意識が高められる。	
		戸籍係	使用済コピー用紙の活用、両面印刷、2アップでの印刷に心掛ける。印刷前に内容を再確認し、ミスプリントをなくす。	ミスプリントや確認資料用として印刷された使用済コピー用紙が多い。	コピー用紙、印刷代の削減。	
		国保年金係	①国保年金係のパソコン16台とプリンター4台の電力削減に努める。30分以上使用しない時は、電源をおとす。	パソコン16台とプリンター4台の電源を入れたままの状態となっているため、消費電力が大きい。	電力削減	
	御前崎支所	市民窓口係	控えとして保管する書類等のデータ化を図る。	支所内に控えとして保管する書類等については、コピー等せずに、データ化して保管する。	用紙使用量、コピー機使用回数、ゴミの削減を図る。	
	市民生活部	環境課	環境政策係	E A21事務局として、エコリーダー等研修会を開催し、環境の意識付けを行う。また、各種記録簿の漏れがないようチェックを行い、アドバイスをする。エコリーダーに負担がかからないよう、記録簿等様式の改善を行う。今年度学校・消防署へ施設の拡大を行うが、認証までの支援・アドバイスをを行う。	E A21についての知識向上、意識付けが必要と感じている。各課エコリーダー等の環境に対する意識の温度差がある。	E A21に対する不安をなくし、無理なく本来の業務ができれば各課の環境に対する意識の温度差がなくなり環境負荷への対策として効果が上がる。
			生活衛生係	イベントを通じて環境推進のPR活動を実施する。生ごみ処理機器の普及推進。今年度目標20件。	各種イベント・大産業祭にて、ごみの分別方法等啓発を実施。外国人等まだ分別方法がわからない方が多いため、自治会から苦情あり。平成24年度生ごみ処理機器補助金交付22件。25年度24件。26年度14件。27年度13件。28年度11件。PR不足が課題。	ごみ分別指導・生ゴミ処理機設置を市民へ啓発することにより、ごみ量の軽減、苦情の減少化が期待できる。
		上下水道課	総務係	お客様センターが市民に発送する通知(納付書等)にエコアクション21のロゴマークを入れ、環境への取り組みをPRする。	エコアクション21の取り組みについて知らない方が多い。	エコアクション21を周知することで、市民に環境活動への意識を持ってもらえる。
	上水道係		水道事業基本計画に基づき、安定的な運営を背景に配水池築造や配水管の布設替え等を行い、安全でおいしい水の安定供給を目指す。また、工事について、再生資材の積極的な活用を行う。	定期的な水質検査の実施、老朽管の更新等により適切な管理を行っていく必要がある。	安全でおいしい水の安定供給 再生資源を活用することで資源を無駄なく活用し、産業廃棄物を減らす効果がある。	
	下水道係		下水道供用開始区域・農業集落排水区域の水洗化率の向上及び御前崎地区の合併浄化槽普及推進のため、各種イベント・課窓口にてパンフレット・ポスター等による啓発活動を実施。	供用開始区域における下水道への未接続戸数、また単独浄化槽の使用戸数が多い。周辺住民から、道路側溝に流れる汚水の悪臭の苦情が出る。	水質浄化機能が向上及び、河川の水質汚濁防止となる。 家庭からの汚水が適切に処理されることにより街の衛生環境向上につながる。	

平成29年度 本来業務に即した環境取組(3/8)

施設名	課名	係名	取組項目の概要	現状・課題	期待される環境負荷の低減効果
本庁舎	福祉課	障がい支援係	訪問先の施設や自宅で、時間に余裕がある際はEAの取り組み等について普及啓発を行う。	地域住民宅や福祉事業所、医療機関等に出向くことが多い。	地域住民や事業所等にEAの取り組みについて普及啓発を行う事で、エコへの意識を高め、全般的なエコ活動への取り組みを促す。
		生活支援係	業務上、様々な通知を出すことが多いため、通知先の対象者をなるべく正確に把握することに努める。	通知の必要のない方への郵送等が行われことがある。	印刷枚数・封筒使用量等が削減、及び郵送料の削減が期待される。
		保護係	適宜、リサイクル品等を回収し、生活保護者への対応の際に必要時に利用していく。	生活保護者等への緊急時対応で生活用品等を必用とすることがある。	リサイクル品等を利用する事で無駄な出費等を抑えることができる。
	子ども未来課	子育て支援係	家庭訪問の際、エコアクションの取り組みを啓発する。	訪問する家庭の殆どが、環境に配慮した生活を営んでいない。	エコへの意識高揚を促すことで、訪問家庭の生活改善が期待される。
		幼保こども園係	各園に行くときは、複数の用件を同時処理するようにする。また、訪問時は配付物等を持っていく。	施設の管理の関係で園へ出向くことが多い。また、保護者への通知は全園で1,000通程度となる。	各園を通じて保護者に通知することにより、鏡文書・封筒・郵便料の削減となる。
		成長支援係	購入した絵本のカバーを切り抜き、保育用品等として再利用する。	カバーは外して処分しているが、紙が厚く、印刷もきれいであるが、うまく利用できず処分していた。	再利用することで、資源の有効活用につながり、保育用品等の購入費が抑えられる。
		母子保健係	各種健診、健康相談の事業時間の短縮を図る。 目標：午前11:30 午後15:30	多くの健診、健康相談を実施しているが、スタッフ人数や対象人数によっては、健診時間が長時間になってしまう場合がある。	実施時間を短縮することで、職員が事務作業を時間内に実施できる。また、光熱費等の削減にもつながる。
	高齢者福祉課	高齢者福祉課	市民に向けて行う事業の際にエコアクション21の取り組みについて市民に伝え環境に対する意識の向上を図る。	おたっしや健康チェックや介護予防の講話や教室の際エコアクション21の取り組みに対する啓発を行っている。市内にエコアクション21の取り組みを周知する。	エコアクション21の取り組み内容を分かりやすく市民に伝えることで、環境したいして意識的に取り組む市民を増やす。
		介護保険係	地域密着型サービス事業所へ運営推進会議時等に指導を通して啓発を行う。	市内にある事業所は認証事業所ではないことから、エコアクション21に対する啓発を行う。	事業所では紙おむつ、紙類、食べ残しなどの排出物が多い為、取り組みによりゴミの分別や排出物の削減が期待できる。
		介護認定係	訪問の際に通知を持っていく等の工夫により、必要以上の封筒、紙を使用しないようにする。	訪問調査や他係で事業所や病院に行くことが多い為、その都度確認し通知を持っていくようにしている。	直接届けることにより、封筒、紙の削減、または郵便料の削減につながる。
		包括支援係	事業所等からの連絡方法を見直す。	電子媒体でなくFAXでの連絡をとる事業所が多い。	電子での連絡により、FAXなどの余分な紙の使用を削減でき、ゴミの排出も抑える。
	健康づくり課	保険予防係	公用車を利用する際、同一場所に行く場合は乗り合いを心掛ける。また市内を巡回する場合は効率的な行路を使う。	市内訪問等は、できるだけ地区をまとめて行くようにしたり、配布書類がある場合は、課内で現場訪問があればついでに持って行ってもらう。	公用車の出勤回数の削減と、走行距離の減少によるガソリンの削減
		健康増進係	健康教育を積極的に行い、各検診の受診率向上を図り、再勧奨通知、医療費の削減をめざす。	封筒、通知、お知らせの書面の空欄がある。空欄を有効活用するため、健康・検診のPR等を記載する。	検診を受けない方に対しての、再勧奨通知の削減となる。さらに、市民が各種検診を受けることで、病気の早期発見、早期治療により、医療費の削減に繋がる。
		地域医療係	名刺にエコアクション21のロゴマークを入れ環境への取り組みをPRする。	市内のエコアクション認定登録事業所数も少なく、エコアクションや環境活動について知らない方が多いのではないかと推測される。	機構改革により部名が変更となったため、例年より名刺を渡す機会が多くなる。名刺交換時に自己紹介と併せてエコアクションについてPRし、市役所が率先して環境への取り組みを地域へ波及させるとともに、職員自身の環境への意識をより高めるきっかけとなることが期待できる。



平成29年度 本来業務に即した環境取組(4/8)

施設名	課名	係名	取組項目の概要	現状・課題	期待される環境負荷の低減効果	
本庁舎	建設経済部	建設課	維持管理課	リサイクル製品をより活用してもらうように周知を図る	年々有用なリサイクル製品が開発・登録されているが土木業者への周知・利用の促進が不十分である。	土木業者と接する機会が多い当課でリサイクル製品の啓発を行うことで、利用の促進が図られる。
			道路河川整備係	建設資材に係る資材の再資源化の促進	工事等で発生する廃棄物処理への関心を持つことや計画的な工期を組むことで余計な廃材を出さないようにする。	工期を計画的に立てることや廃材の処分量を明確にすることで無駄のない資材の利用、廃材の再生資源を有効に活用できる。
		都市政策課	政策係	対象建設工事の建設リサイクル法届出の周知	現場へ出た際に建設リサイクル法の届出がされていない建設工事を発見した場合、速やかに届出してもらうよう催促する。	資源の有効利用、廃棄物の適正処理を建設工事業者へ周知してもらう。
			建築住宅係	会議資料等の用紙類の使用量削減	会議の回数が多く、用紙の使用量が多いため、会議等の資料は、両面コピー・縮小コピーを徹底する。	用紙の使用量を削減することにより資源の無駄使いを無くし、資源が有効活用される。
		管理課	土地管理係	現場との往復時、アイドリングストップ、急発進をしない等、公用車のエコドライブに努める。	エコドライブの習慣化には、日常的な意識付けが必要である。	エコドライブの実践により、燃費向上が見込まれる。
			施設管理係	自然公園、都市公園、市営住宅等市内の緑化推進及び保全に努める。	市営住宅、公園等には樹木が植えられ、市民の憩いの場となるよう整備されている。また、市内には80近い民間の緑化推進団体がある。公園、住宅の樹木は恒常的な植栽管理が必要で、専門業者との協力により管理を行なう。また、市内緑化団体には静岡県グリーンバンクの種子球根、苗木等の配布事業や緑の募金助成金事業を活用し、更なる緑化推進に努めてもらう。	市内の緑化を推進することでCO2の削減、地球温暖化防止につながる。
		農林水産課	農地係	美しい海岸を守る（松林への薬剤散布、薬剤樹幹注入事業）	松くい虫被害や塩害により松林消失が進行している。	海からの塩分を含んだ風雨や飛砂を低減することにより、農地等への風害や塩害、津波被害等の減少、美しい景観の維持といった効果が得られる。
			農村整備係	農作物や生活に害を与える有害鳥獣などへの対策を行う。	市内全域の畑や樹園地で農作物等に害を与える有害鳥獣などの問題がある。	鳥獣の保護や狩猟の適正化を図ることにより、生物多様性の確保や保全が図られる。
			特産振興係	人と自然がつながる農地を守る（「地産地消」を推進）	地域農業における、担い手不足、農業者の高齢化、農産物の価格低迷などにより、農業を取り巻く現状は、厳しさを増しており、経営面積が減少し耕作放棄地が増加している。	運搬にかかるエネルギー消費などによる地球温暖化などの問題と絡み、「地産地消」を推進することは、環境への負荷が少ないだけでなく、地域の農業活性化にもつながる。
		商工観光課	商工係	マイバックの持参を行い、レジ袋の削減に協力します。	マイバック運動は定着してきている一方、企業側の「万引き防止」「顧客のニーズ」などの理由から、レジ袋の使用が多くなってきているが、ゴミ削減の為に、イベント等を通して啓発を行いたい。	ゴミの軽減。CO2の削減。
	観光交流係		各イベントにおけるゴミステーションの見回り、場内放送での呼びかけなど来場者への指導を実施する。リサイクルの実施、活動への推進・協力を行う。	リサイクル容器（コップ・お皿）の検討。	ゴミ分別によるリサイクル資源の確保、CO2削減、温暖化防止。来場者への意識付け。	
	企業港湾係		企業・各団体への通知文書を、郵送（紙）から電子化（メール）する。		電子化により、インク、紙、封筒、郵送料、郵送による燃料代、CO2の排出が削減できる。	
	会計課	経理係	耐火書庫の退室時の消灯の徹底	耐火書庫の退室の際、消灯し忘れることがある。消灯の意識を高める必要がある。	不必要時の消灯により、電気使用量の削減を図る。	
		検査係	交通における環境負荷の低減	公用車の使用による燃料使用と、運転により事故発生の危険がある。	公共交通機関を利用することで、CO2の削減と、維持費用の削減、交通事故の予防となる。	
	議会事務局 監査委員事務局	議会	・雑紙のリサイクル推進、裏面使用、メール、FAXの利用等 ・本会議会議録の印刷製本を外注せず、事務局で最小限の印刷を行う。 ・公用車にハイブリッド車を導入。	・事務局にて印刷製本を行っているため職員に負担がかかる。	・可燃ごみの排出量の削減と紙の使用量の削減ができる。 ・ホームページでの公開もしており必要最小限の印刷部数としているため、紙、インク、経費等の削減ができる。 ・ガソリン使用の削減、CO2排出量の削減ができる。	
		監査	・雑紙のリサイクル推進、裏面使用、メール、FAXの利用。	・ミスプリントを減らすため、プレビュー画面によるチェックを実施。	・可燃ごみの排出量の削減と紙の使用量の削減ができる。	

平成29年度 本来業務に即した環境取組(5/8)

施設名	課名	係名	取組項目の概要	現状・課題	期待される環境負荷の低減効果
教育会館	教育総務課	総務係	学校に行くときは、複数の用件を同時処理するようにする。また、訪問時は保護者や学校宛の配付物等を持っていく。	対象者が毎月変わるため、学校の保護者の取りまとめが課題となっている。	学校を通じて保護者に通知することにより、鏡文書・封筒・郵便料の削減となる。
		施設管理係	公用車管理点検	使用してる公用車の法定点検は義務化され点検は実施しているが、使用走行距離等が多い車両に関しては早い点検を行う。関係されるタイヤの摩耗・オイル交換目安に注意してドロドロになる前にオイルの循環不良、エンジンの焼き付きをなくす。	エンジン音が静かになったり、またエンジンがスムーズに回転する事により、燃費向上につながる。
		学校教育課	学事係	学校への通知文書や連絡を、できるだけデータ化（電子メール）する。	紙媒体でやりとりすることも多い。
	社会教育課	指導係	小中学校に対し、エコアクション21の取り組みを広げ、円滑に取り組めるよう支援する。	本年度より施設拡大で小中学校が取り組み始めたが、まだ活動内容や目的に戸惑いがある。学校が円滑に取り組めるよう支援する必要がある。	エコアクション21の理念取り組みを子どもたちが知ることで、子どもから保護者、地域へも環境保全の意識が高まることが期待される。
		生涯学習係	各地区公民館において環境啓発活動を行えるよう情報交換やアドバイスをっていく。	今年度も継続して各公民館エコリーダーとの情報共有が必要と思われる。	不特定多数の市民が利用する公民館において環境啓発活動を行うことで、市民へのより一層の環境への意識向上が期待できる。
		芸術文化係	小中学生や地域ボランティアが一体となり、積極的な清掃活動に取り組み、美しい海岸環境の保全に努める。また、ウミガメ保護活動を通して、環境問題への意識を高める。	ゴミの海岸への漂着。海岸浸食。	海岸清掃により、豊かな自然の保護と共に、アカウミガメの産卵環境を維持する。
		スポーツ振興係	1.各種団体郵送物について、係内での調整により同封するよう心がける。また封筒も古紙配合率の高いものを使用する。 2.各種スポーツイベント等において終了時の清掃を呼びかける	1.市、教育委員会、体育協会主催時の通知関係は各々が通知している。 2.市民体育大会等は地区でゴミの管理がなされているが、個人参加のマラソン大会、マラソンフェスタでは終了時ゴミが残る。	1.同一人物への通知は極力同封することで鏡文書の枚数、封筒の削減を図る。 2.自然を利用したイベントも多く環境美化を図る。

平成29年度 本来業務に即した環境取組(拡大対象施設)(6/8)

施設名	施設・公民館名	係名	取組項目の概要	現状・課題	期待される環境負荷の低減効果
平成27年3月4日 認証・拡大施設	教育委員会	図書館	図書館の不要になった資料を「リサイクル市」を開催することにより、市の施設や市民に配布し再利用(リユース)してもらう。	図書館の収蔵スペースにも限りがあり、新しい資料の提供のために利用されなくなった資料を除籍処分するが、そのままごみとして廃棄するのは環境対策の上で好ましくない。	除籍した資料は、まだ有用なものが多く、再利用(リユース)してもらうことにより、資源を有効利用することができる。
			図書館の所蔵している「環境」をテーマとした資料を特別コーナーを設けて展示し、エコ活動のPRを図る。	環境や環境活動について、また当館の「エコアクション21」の活動について、まだ知られていないのでPRが必要。	一般に知られていない環境活動について、「テーマ展示」によるPRにより、来館する客に周知できるとともに、市民それぞれが環境について考えるきっかけ作りが期待できる。
		浜岡給食センター	学校給食食材に地場産物を活用する。梱包の簡素化・輸送距離減少が可能。	教育振興基本計画に食育充実推進・学校給食での地場産物活用取組が盛り込まれており、地元の食文化・地域再発見等の機会とする。『学校給食一口メモ(放送原稿)』等により身近な食材に興味を示されている。収穫時期が限定され市場品より高額な場合がある。	梱包の簡素化・輸送距離減少が可能。エネルギー消費の削減、燃料減少によるCO2排出削減が期待できる。
			生ごみや食べ残しを肥料作りに提供する。	センターでの生ごみや学校からの食べ残しを、東遠衛生センターへ搬入。そこで肥料に加工する。	生ごみ等の焼却量の削減。
			食べ残しを減らす工夫。	献立をたてる時、子どもたちの食事環境を考慮し、栄養バランスについて配慮する。『学校給食献立表』、『学校給食センターだより』、『学校給食一口メモ(放送原稿)』等の発行により学校給食の意義や目標等をお知らせし、興味や意識を高める。	食べ残しの削減により、ごみ量が軽減できる。
			学校給食調理後の廃油(植物油)の有効活用。	「資源環境型社会構築」、「環境負荷の軽減」を目的に、学校給食調理後の廃油(植物油)をディーゼル燃料に再生する業者が有償で回収。	廃油が燃料に再生される事でリサイクル資源の確保。雑入収入が見込まれる。
		御前崎給食センター	学校給食食材に地場産物を活用する。梱包の簡素化・輸送距離減少が可能。	教育振興基本計画に食育充実推進・学校給食での地場産物活用取組が盛り込まれており、地元の食文化・地域再発見等の機会とする。『学校給食一口メモ(放送原稿)』等により身近な食材に興味を示されている。収穫時期が限定され市場品より高額な場合がある。	梱包の簡素化・輸送距離減少が可能。エネルギー消費の削減、燃料減少によるCO2排出削減が期待できる。
			食べ残しを減らす工夫。	献立をたてる時、子どもたちの食事環境を考慮し、栄養バランスについて配慮する。『学校給食献立表』、『学校給食センターだより』、『学校給食一口メモ(放送原稿)』等の発行により学校給食の意義や目標等をお知らせし、興味や意識を高める。	食べ残しの削減により、ごみ量が軽減できる。
			学校給食調理後の使用済食用油の有効活用	「資源環境型社会構築」、「環境負荷の軽減」を目的に、学校給食調理後の廃油(植物油)をディーゼル燃料に再生する業者が有償で回収。	廃油が燃料に再生される事でリサイクル資源の確保。雑入収入が見込まれる。
		教育委員会(社会教育課)	池新田公民館	施設利用者などにエコアクション21の取り組み内容を伝え、なお一層の環境教育啓発活動を行う。	エコアクション21の取り組み内容がまだまだ周知されていない。環境に対する意識を高める。
	高松公民館		屋外でのごみの持ち帰りを周知する。	施設利用者に尚、一層の意識向上を図る。	周知徹底を図ることで環境保全につながる。
	佐倉公民館		調理室使用時、節水・汚水流し防止のため、ペーパー等で拭きとるよう呼び掛け公民館使用簿への使用後の確認の徹底	排水溝が詰まってしまい、定期的に清掃が必要となってきた使用簿の記入がマンネリ化傾向になっている	公民館で行うことで、地区住民の環境問題への意識向上につながる 電気料等の削減につながる
	比木公民館		イベントや、会合等で公民館・比木体育館を利用する地域住民に対して、エコアクション21の取り組み内容である環境教育を伝え啓発活動を行うとともに、環境問題に自ら取り組んでもらうよう促す。	地域住民にエコアクション21の内容を伝えたいが、まだ十分ではない。環境問題への関心はあるが、まだ意識の低い住民もいる。	地域住民にエコアクション21の取り組みを理解してもらい、環境問題への理解が得られ、意識向上へつながる。
	朝比奈公民館		イベント、会合等を通じて、地域住民に環境推進についてPRすると共に、イベントに読み聞かせ等、環境教育の内容を取り入れる。	地域住民にエコアクション21の内容を伝えてきたが、まだ浸透していないのが現状である。	地区住民の意識の向上が、図れる。
新野公民館	エアコン温度の適切な設定		設定温度が異常に低い時がある。(特に夏場)	電気使用料の削減	
御前崎公民館	公民館利用者のトイレの照明と換気扇の消灯の点検を毎日3回程度行う。		トイレの照明は消すようになったが、換気扇の消し忘れが時々ある。	節電効果が期待できる	
白羽公民館	①エコアクション21の周知の継続。 ②グリーンカーテンの試み。 ③室内温度調整。サーキュレーターの使用。		①周知がまだ不十分である。 ②事務室東側が全てガラス窓のため朝から室内気温が高い。 ③空調温度の調整が難しい。	①周知の継続により意識の定着化を図る ②室内温度の上昇を抑える効果と外観の清涼感も期待できる ③より効果的に空調を使用する	

平成29年度 本来業務に即した環境取組(拡大対象施設)(7/8)

施設名	園名	係名	取組項目の概要	現状・課題	期待される環境負荷の低減効果
平成29年3月4日 認証・拡大施設	教育委員会	池新田幼稚園	園内のミニリサイクルの推進	・毎日随時リサイクルをし、資源回収への意識を高め、リサイクル活動の推進を図っていく。	・環境対策への意識向上
			ゴミに分別	・各クラスわかりやすい表示や心がけ、職員や子どもたちの意識付けや資源を大切にする気持ちを高めていく。	・園児・職員のごみ分別に対する意識向上
			節水に心がける	・手洗い場での水の出し方等知らせながら、水の大切さを知らせていく。	・節水への意識向上
		高松幼稚園	廃材の再利用	・空き箱、カップ、牛乳パック等を収集するリサイクルBOXを設置し、遊びに使用すると共に、園児に物の大切さを知らせていく。	・物を大切にする気持ちの向上及びゴミの削減。 ・分別を覚える。
			節水を心がける	・各クラスで表示や声掛けをし、水の大切さを知らせるとともに、節水に心がける。	・節水への意識向上 ・水道使用量削減
			送迎の際のエンジン停止の呼びかけ	・表示や声掛けをし、送迎の際にエンジン停止を呼びかける。(合わせて徒歩通園を呼びかけていく。)	・環境対策への意識向上
		白羽幼稚園	ミニリサイクルの推進	・ミニリサイクル小屋を設置し、家庭(地域)からの資源物を随時回収できるようにすることで、リサイクルの推進を図る	家庭(地域)のリサイクルへの意識向上とごみの削減
			園内のゴミ分別の推進	・分別しやすいよう、園内共通の表示とし、ごみの分別、資源リサイクルを意識づけていく(職員・園児)	園児・職員のごみ分別に対する意識向上
		浜岡保育園	リサイクルボックスの設置	ゴミの分別がしやすいように表示すると共に、資源の再利用ができるようにしていく。	園児・職員がごみの分別に対する意識の向上。 ゴミの削減につなげる
			リサイクル活動の推進	家庭に呼び掛け、随時回収できるように倉庫を開けておく。また、職員も園内のリサイクルに心がけていく。	家庭・園内のゴミの削減や資源のリサイクルにつなげる
			節水・節電に心がける	水道蛇口に張り紙をしたり、使っていない部屋の電気は消す	水道・電気料の削減・省エネに心がけ、資源の大切さを子どもたちに知らせていく。
		白羽保育園	アルミ缶の回収	正門に設置してある回収ボックスを使ってアルミ缶の回収を継続しているが、どれくらい集まったかを数字で見える化することでより意識の向上につなげていきたい。	家庭へのリサイクルへの意識向上とゴミの削減
			ごみの分別	ゴミ箱を各クラス統一したことで『燃やせるごみ』『プラマーク』『雑紙』など子どもと職員がわかりやすくごみの分別に意識を高められるようにしていきたい。	園児・職員のごみ分別に対する意識向上
			節水を心がける	各クラスで節水に対する工夫を出し合い、園児、職員で節水に意識を持つ。水道の漏れがないか、メーターや使用料をチェックしていく。	水道の使用削減と節水への意識向上
		さくらこども園	リサイクル物の収集	保護者に呼び掛け、古紙、段ボール、アルミ缶を随時園に持ってきてもらっている。さらなる啓蒙をしていく。	家庭のリサイクルへの意識の向上とゴミの削減
			ごみの分別	園児に理解できる範囲で、資源の大切さを知らせたり、ごみの分別ばこに見て分かりやすい表示を付けたりし、子ども達や職員のごみの分別につなげる。	園児、職員のごみ分別に対する意識向上
			節電・節水を心がける	電源スイッチ、手洗い場等に節電節水シールを貼り、職員の意識を高める。	電気、水道の使用削減
		北こども園	壁面等で利用した画用紙、おりがみなどの余りをとっておき、子どもたちの遊びや製作に再利用していく	保育者自身が意識し、各クラス使いかけの画用紙をとっておける箱を作るなどして、無駄なく使う。	ごみの削減
			リサイクル物の収集	月に一度回収日を決め、役員さんにも手伝ってもらい、各家庭からリサイクル物を回収している。	ごみの削減 家庭のリサイクルへの意識向上
			ごみの分別	各クラスごみ箱に表示をつけて、子どもたちもごみの分別への意識が持てるようにしている。	園児の分別への意識向上
		御前崎こども園	○ミニリサイクルを継続して行う。	保護者におたよりや掲示板で知らせ、リサイクルへの興味・関心を啓蒙していく。	・家庭のリサイクルの意識向上
			○節電・節水を心がける	職員の意識向上のために、ミーティングなどでも知らせ(使用料など)、園全体での取り組みを目指していく。	・使用量の削減

平成29年度 本来業務に即した環境取組(拡大対象施設)(8/8)

施設名	施設・学校名	係名	取組項目の概要	現状・課題	期待される環境負荷の低減効果
平成29年度 拡大対象施設	教育委員会	浜岡中	資源リサイクル	職員室内のゴミの分別に対する意識を更に向上させる必要がある。	教職員のリサイクルに対する意識の向上。
			清掃活動の充実	黙動清掃を指導し、時間いっぱい隅々まで、清掃する態度を養う必要がある。	環境美化に対する生徒の意識向上。
			節電	移動教室の際に、教室内の消灯を忘れていることがある。生徒及び教職員に対して、節電を今まで以上に呼びかける必要がある。	エネルギー使用量の削減。
		御前崎中	資源回収活動を通して、適切なリサイクルと環境保護の関係を考える。	資源回収と環境保護を関連づけることができない。	ゴミの排出量、ゴミ焼却によるCO2排出の削減
			トイレや廊下等、生徒不在時(授業中)に照明が点灯したままになっている。	授業中、利用者がいないにもかかわらず点灯していることが多い。	CO2排出量、電気代の削減
			給食の残量を減らす工夫	残量が多い。	生ゴミの排出量の削減
		第一小	校内におけるゴミの分別徹底を丁寧に指導する。	職員の意識の個人差が大きいため、児童への指導にもばらつきがある。	児童の環境意識が醸成され、資源の有効活用が見込まれる。
			節電・節水の大切さを児童に伝え、徹底を図る。	節電・節水が自治的な活動に高まっていない。不在時の教室で電気の消し忘れがある。	省電力、省資源化が図られる。
			アルミ缶回収を行う。	アルミ缶回収活動は順調だが、活動の意義をもっと周知したい。	児童の環境意識が高まる。資源の有効活用が進む。
		東小	廃品回収用のリサイクルコンテナの利用呼びかけ	学校施設内に雑誌、新聞、段ボールのリサイクルコンテナを設置したが、保護者等の利用が少ないため、呼びかけを積極的に行っていく。	リサイクルコンテナの利用により、校内、学区内の古紙類リサイクルの促進が期待できる。
			奉仕作業による校内施設の環境整備	教員、児童だけではやりきれない環境整備をPTA奉仕作業においてカバーし、校内の環境を整える。	校内の環境整備が定期的に行われ、ケガ等の防止が期待できる。
			もくもく掃除(黙働)の推進	学校の清掃活動において、決まった時間に黙って清掃する習慣づけを行いたい。	環境への意識が高まることが期待できる。また、環境への働きかけをどのように行うのかという視点を持つ力も高められる。
		北小	各家庭から出るアルミ缶を児童が学校へ持ち寄り、回収状況を全校放送で流し、資源の有効活用を図る	各家庭への啓発を行い、協力を得る。	ごみの軽減、資源リサイクルになる
			校内での節電・節水を図る。	教室移動の際、教室の電気の消し忘れが見られ、職員、児童の意識を高める必要がある。	省資源が図られる。
			食べ物に感謝し、おいしくいただき、残量を減らす。	児童への食育の計画的実施	廃棄物排出抑制が図られる。
		御前崎小	食べ物に感謝する食育・給食指導	残量は多くはない。指導を継続し、さらに残量を減らしたい。	給食残飯の削減
			縦割り班による異学年の清掃活動の実施	今までの活動を続けると共に、分別したゴミの全体量を計測する取組を始める。	ゴミの削減、児童のリサイクル意識の高まり
			アカウミガメの飼育、放流、海岸クリーン作戦の実施	例年、自校単独で行ってき海岸清掃を、白羽小、御前崎中合同で実施する。	児童の実感を伴った環境保護意識の醸成
		白小	つくってくれた人と命に感謝する食育指導	学級担任、給食委員会、全校の子どもたちの努力により、残量はとて少ない。	つくってくれた人と命の感謝する食育指導の継続により、意識をさらに高める。
			節電。子どもがいない教室、休み時間のトイレ等、誰もいない場所の電気を消す。	教室の照明は、管理されている。トイレの照明の消し忘れがある。節電の意識はあまりない。	環境委員会児童が、ソーラーパネルでつくられている電力量を全校に紹介した。節電意識を広めていく。
			PTAリサイクル活動、児童福祉委員会のエコキャップとアルミ缶集めが、保護者、子どもたち、職員の協力で行う。	リサイクルの意義はあまり意識されていない。	リサイクルの意義を子どもたち、職員、保護者が共有し、さらに高めていく。
消防本部	消防総務課 総務係 警防係 消防団係	始業時のミーティングで、1日の業務スケジュールを確認し事務の効率化を図る。	各個人の業務量を把握できていない。1日の業務量を課員が把握し、仕事を効率的に行う必要がある。	各個人の業務量を課員が確認し、相互に協力することで、残業時間の削減効果が期待できる。	
	予防課 危険物係 予防係	危険物事故及び火災予防広報	事業所や市民に対して危険物の漏えいや、火災予防の広報を実施し意識高揚を図っている。	事業所及び市民に対して危険物事故防止や出火防止の広報を実施することで危険物の漏えいや火災による地域の環境負荷低減を図る。	
消防署	警防係 救急係 救助係	マイボトルの使用を促進して、エコアクション21の取り組みのきっかけとする。	エコアクション21に対しての意識が根付いていない。早期に周知、徹底を図る必要がある。	マイボトルを使用することにより、ごみ等の削減とエコアクション21の意識付けを行う。	

環境基本計画

○環境基本計画に基づく取組と実績の主なもの(平成28年度実績)

御前崎市環境基本計画では、望ましい環境像「育てよう自然の恵みと若い夢、未来へ灯す御前崎」を実現するために、市・市民・事業者の各主体が自らの役割を果たすよう、6つの環境目標を柱に取組んでいます。

- A: 目標達成率が100%以上
- B: 目標達成率が75%以上100%未満
- C: 目標達成率が50%以上75%未満
- D: 目標達成率が25%以上50%未満
- E: 目標達成率が25%未満



マリナーパーク海水浴場

環境目標1: 自然環境の保全と生物多様性の確保

- 【1-1】美しい海岸を守り豊かな海をつくる
- 【1-2】清らかな河川や水資源を守る
- 【1-3】緑豊かな森をつくる
- 【1-4】人と自然がつながる農地を守る
- 【1-5】多様な生きものと共生する

環境目標1: 自然環境の保全と生物多様性の確保

方向	環境指標	単位	基準値		H25	H26	H27	現状値(H28)	目標値(H31)	評価
1-1	ウミガメ指定地域・海岸清掃ボランティア数	人/年	940	H19	490	774	764	730	1,000	C
	海岸清掃・緑の少年団参加者数	人/年	600	H20	900	730	450	300	600	C
	海岸林整備・ボランティア参加者数	人/年	300	H20	200	160	150	180	300	C
	海岸部への不法投棄箇所数	箇所	93	H20	17	9	23	12	0	B
1-2	雨水透水性舗装延長(歩道部)	m	0	H21	1,406	1,489	183	255	2,452	A
	雨水浸透ますの設置補助基数	基	0	H21	0	0	0	0	30 (累計)	-
1-3	松食い虫被害海岸林・除伐面積	ha	4.03	H20	3.45	1.1	1.5	1.1	0	E
	海岸林整備・ボランティア参加者数	人/年	300	H20	200	160	150	180	300	C
1-4	農地面積(土地利用)	ha	1,810	H17	1,695	1,605	1,501	1,500	1,720 (H29)	B
	エコファーマー認定者数	人	7	H20	41	39	39	39	10 (H22)	A
	遊休農地面積	ha	479	H20	434	485	475	596	361 (H25)	C
1-5	アカウミガメ保護卵数	個/年	25,000	H21	24,335	14,055	4,106	13,506	25,000	C
	アカウミガメ産卵観察会日数	日/年	14	H21	9	9	7	7	14	C
	アカウミガメ産卵観察会参加者数	人/年	620	H21	1,078	1,056	988	900	620	A
	アカウミガメ放流観察会日数	日/年	3	H21	5	7	5	3	3	A
	アカウミガメ放流観察会参加者数	人/年	650	H21	944	1,056	495	469	650	C

【目標】アカウミガメの人工孵化、放流、監視、観察会の実施を継続し、保護を行います。アカウミガメの産卵を妨害しないような海岸線道路の街灯整備など、アカウミガメの産卵環境の維持を図ります。また、海岸防風林の松枯れ対策を進めると共に、市民との協働で飛砂防備保安林等の植林を行います。



桜ヶ池 お櫃納め



あらかわふる里公園

環境目標2: 快適環境の保全と創造

- 【2-1】自然とのふれあいを増やす
- 【2-2】まちに公園や緑地をつくる
- 【2-3】すばらしい景観を活かす
- 【2-4】歴史と文化を後世に残す

環境目標2: 快適環境の保全と創造

方向	環境指標	単位	基準値		H25	H26	現状値(H27)	現状値(H28)	目標値(H31)	評価
2-1	観光客数	人	251万	H19	220万	207万	200万	255万	260万	B
	自然観察会参加者数	人	0	H21	0	0	0	0	50	-
2-2	1人当たりの都市公園等面積	m <sup>2</sup> /人	5.35	H20	5.39	5.45	5.51	5.55	6.4	B
	都市計画公園数	箇所	4	H20	4	4	4	4	4	A
	グリーンバンク申請団体数	団体	64	H20	65	55	60	52	80	C
2-3	「景色が美しい」に対する満足度	-	0.35	H20	-	-	-	-	1	-
2-4	指定文化財数	件	31	H21	29	29	31	32	35	B
	文化財案内板設置数	基	71	H21	70	70	70	74	100	C

【目標】河川や道路の草刈りなどの美化活動を、市民との協働により定期的にも実施し、良好な環境の形成に努めます。合併浄化槽の推進については、補助金額を増額し、年間80~100基の設置を目指します。

### 環境目標3:安全・安心な生活環境の保全

【3-1】公害を防ぐ

【3-2】きれいな空気と静かな環境を守る

【3-3】きれいな水の環境を守る

#### 環境目標3：安全・安心な生活環境の保全

方向	環境指標	単位	基準値	H25	H26	現状値 (H27)	現状値 (H28)	目標値 (H31)	評価
3-1	公害苦情件数	件	21 H19	15	12	6	8	0 (H31)	D
	公害防止協定（環境保全協定）締結社数	件	42 H20	40	39	40	40	50 (H31)	B
3-2	大気汚染の公害苦情件数	件	1 H20	4	0	0	0	0	A
	悪臭の公害苦情件数	件	10 H20	7	6	2	1	0	E
	臭気指数による基準値超過地点数	地点	0/6 H20	2/6	5/7	2/7	2/7	0	D
	騒音・振動の公害苦情件数	件	0 H20	2	3	2	4	0	E
3-3	水質汚濁の公害苦情件数	件	3 H20	2	3	2	3	0	E
	市内河川BODのB類型基準達成率	%	55.6 H20	79.3	72.4	77.5	79.3	60	B
	生活雑排水処理率	%	74.6 H19	75.9	76.4	77.6	79.9	85.0 (H30)	B

【目標】 公害の未然防止と環境の監視のため、定期的な環境調査を継続していきます。廃食油回収については、回収量が増加するよう啓発に努めます。



水質調査



騒音測定

### 環境目標4:資源エネルギーの循環的利用

【4-1】ごみの減量とリサイクルを進める

【4-2】ごみのないきれいなまちにする

【4-3】環境面からエネルギーを考える

#### 環境目標4：資源エネルギーの循環的利用

方向	環境指標	単位	基準値	H25	H26	現状値 (H27)	現状値 (H28)	目標値 (H31)	評価
4-1	1人1日当たりごみ排出量	g/日人	1,253 H19	961	949	968	980	1,067 (H30)	A
	マイバッグ持参率	%	83.7 H20	86	86.3	87.8	88.2	90	B
	リサイクル率	%	33.4 H19	31.3	33.2	32.3	31.0	40.0 (H30)	B
	最終処分率	%	11.4 H19	3.7	3.8	4.7	4.2	9.0 (H30)	A
	生ごみ処理機器購入助成数	件	48 H20	25	14	13	11	60	E
4-2	不法投棄箇所数	箇所	211 H20	81	59	90	84	0	D
	不法投棄監視パトロール実施回数	回	93 H20	75	92	91	85	100	B
	環境美化活動への参加者数	人/年	121 H20	121	180	170	150	180	B
	ごみゼロ運動の参加者数	人	6,012 H21	5,736	5,470	5,458	5,664	7,000	B
4-3	新エネ・省エネ機器導入補助件数	件	128 H20	233	220	169	185	140	A
	廃食用油回収量	kl	372 H21	378	298	376	402	160	A

【目標】 3R の推進とグリーン購入の普及拡大をします。不法投棄の防止や環境美化の推進を図ります。新エネルギー・省エネルギー機器については、普及状況を検討し適切な補助を行います。また、太陽光発電システム等の公共施設への設置を推進します。



古紙拠点回収(市役所本庁舎駐車場)



不法投棄防止ネット

**環境目標5:地球環境の保全**  
 【5-1】地球温暖化を止める  
 【5-2】オゾン層を守る

**環境目標5：地球環境の保全**

方向	環境指標	単位	基準値	H25	H26	現状値 (H27)	現状値 (H28)	目標値 (H32)	評価	
5-1	市有施設からの温室効果ガス排出量	kg-CO2	7,362,149	H17	6,113,681	6,035,560	9,193,520	9,164,560	8,733,844 (2015基準)	B
	アースキッズ事業参加人数	人	48	H21	407	494	603	691	1,000	C
5-2	オゾン層の破壊に関する関心度	%	35.5	H20	-	-	-	-	50	-

【目標】二酸化炭素排出量の削減について、市有施設だけでなく市民・事業者も同時に進めていきます。  
 ※平成27年度温室効果ガス排出量値は、対象施設が増加したため増加。



アースキッズ(キックオフ)



アースキッズ(セレモニー)

**環境目標6:環境教育・環境保全活動の推進**

- 【6-1】環境について学び・活動する
- 【6-2】環境情報を活用する

**環境目標6：環境教育・環境保全活動の推進**

方向	環境指標	単位	基準値	H25	H26	現状値 (H27)	現状値 (H28)	目標値 (H31)	評価	
6-1	アカウミガメ保護卵数	個/年	25,000	H21	24,335	14,055	4,106	13,506	25,000	C
	アカウミガメ産卵観察会日数	日/年	14	H21	9	9	7	7	14	C
	アカウミガメ産卵観察会参加者数	人/年	620	H21	1,078	1,056	988	900	620	A
	アカウミガメ放流観察会日数	日/年	3	H21	5	7	5	3	3	A
	アカウミガメ放流観察会参加者数	人/年	650	H21	944	1,056	495	469	650	C
	磯の生物観察会・参加者数	人/年	44	H21	28	25	27	15	50	C
	出前講座回数	回	6	H20	0	0	0	0	10	E
6-2	CATVによる情報発信回数	件	12	H20	5	0	0	0	20	E

【目標】環境教育・環境学習の推進を図ると共に、市民に対し環境情報を積極的に提供します。



アカウミガメの産卵



ウミガメ保護監視員




## 7 教育訓練の実施


開催日	名 称	対象者	対象人数	内 容	講師
H28.3.24	エコアクション「ロゴマーク」の活用について(依頼)	全職員	-	「ロゴマーク」の活用について周知(名刺等)	-
H28.4.1	環境推進員(エコリーダー)推薦依頼	各部署・各施設	-	各部署・各施設エコリーダーの推薦	-
H28.4.11	推進員会議の開催について(依頼)	各部署・各施設	-	推進員会議開催案内通知	-
H28.4.11	各所属の取組の方針・内容の作成について(幹部会へ報告)	市長・副市長 各部長	-	各所属の取組方針・取組内容の依頼について幹部会へ報告	-
H28.4.11	各園長へエコアクション21説明会	各園長 教育総務課	10名	各園長へエコアクション21の概要説明	-
H28.4.12	認証拡大予定施設(園)環境推進員(エコリーダー)推薦依頼	各園長	-	各園エコリーダーの推薦	-
H28.4.15	各部署取組項目提出依頼	対象部署・施設	-	本来業務に即した環境取組の提出依頼	-
H28.4.15	各部署環境基本計画の評価提出依頼	対象部署・施設	-	環境基本計画の評価の提出依頼	-
H28.4.18	エコリーダー推進員会議 平成28年度新規採用職員説明会	エコリーダー 新規採用職員	32名 12名	EA21の概要及び本来業務について	富田 審査人
H28.4.18	エコリーダー推進員会議(各園)	各副園長	8名	各副園長へエコアクション21の概要説明	-
H28.4.22	クールビズの実施について	全職員	-	クールビズの実施について依頼(総務課)	-
H28.4.25	認証拡大予定施設(園)取組項目提出	各園	-	本来業務に即した環境取組の提出依頼	-
H28.4.28	内部監査員研修会依頼	内部監査員 書記	-	内部監査員研修会依頼通知	-
H28.5.9	本来業務に即した環境取組について(報告)	全職員・市長・ 副市長・各部長	-	本来業務に即した環境取組について全職員へ周知及び幹部会へ報告	-
H28.6.1~30	環境月間(環境展示コーナー設置)	市民	-	環境のPR(庁舎へのぼり設置・図書館へテーマ展示)	-
H28.6.30	内部監査員選任	各部長	5名	内部監査員選任	-
H28.7.12	内部監査員研修会依頼(再通知)	内部監査員 書記	-	内部監査員研修会依頼再通知	-
H28.7.14	内部監査の実施について	内部監査員・書記・ 各所属長・エコリーダー	-	内部監査の実施について通知	-
H28.7.15	内部監査事前説明会の開催について	エコリーダー	-	内部監査事前説明会の開催について通知	-
H28.8.4	EA21内部監査事前説明会	エコリーダー	29名	EA21エコリーダー向け説明会	三好 審査人
H28.8.4	EA21内部監査員研修会	エコリーダー	10名	内部監査員・書記向け説明会	三好 審査人
H28.8.15~18	EA21内部監査	被監査対象課施設 (部長・所属長・エコリーダー)	16課局 19施設	EA21内部監査について	-
H28.8.28	総合防災訓練	御前崎市職員他	-	発災時における応急対策訓練	-
H28.10.12	更新審査の実施について	市長・副市長 各部長	-	幹部会へ更新審査の実施について報告	-
H28.10.18	更新審査の実施について	各部長・受審所属長 ・エコリーダー	-	更新審査の実施について通知	-
H28.11.8~9	EA21更新審査	被監査対象課施設 (部長・所属長・エコリーダー)	8課 12施設	EA21更新審査	味岡 瀬本
H28.11.15	EA21概要及び取得支援セミナー参加説明会募集	市内業者	-	商工会を通じEA21取得支援セミナー参加者の募集。広報紙へも掲載	-
H28.2.20	EA21拡大施設説明会	各小中学校校長	7名	校長会にてEA21の概要について説明	-
H29.3.6	各園認証・施設拡大登録	全職員	-	認証登録契約書の締結	-
H29.3.27	EA21拡大施設説明会	各小中学校教頭	8名	エコリーダー(教頭)へEA21の概要について説明	-
H29.3.31	EA21拡大施設説明会	消防署	8名	消防署へEA21の概要について説明	-

内部監査総括報告書

御前崎市長 様

平成 28年 9月 5日

(事務局)  
環境下水道課長 長尾 詔司 

(環境管理責任者の確認)  
環境部長 齊藤 光芳 

エコアクション21内部監査について、下記のとおり報告します。

監査実施年度	平成 28 年度
監査の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 定期監査 <input type="checkbox"/> 臨時監査
監査対象期間	平成 27年 4月 1日    ~    平成 28年 3月 31日
監査実施期間	平成 28年 8月 15日    ~    平成 28年 8月 18日

監査結果概要

指摘事項 件数等	不適合 (是正措置要求)			注意 (口頭)	
	件数	是正状況			件数
		是正済	是正検討	その他	
0 件	0件	0件	0件	0 件	

監査結果総括

内部監査は、「御前崎市役所エコアクション21システム内部監査実施要領」に基づき、年1回定期監査を行うものである。  
 今回の内部監査は、昨年度中間審査を受審していない10課・2局と、財政課、教育総務課、図書館・学校給食センター・各公民館(8公民館)を対象とし、平成27年度の運用状況について実施した。また今年度拡大認証予定の3幼稚園・2保育園・3こども園も実施し確認を行った。  
 なお、対象課・局・園・施設に対しては、8月4日に「内部監査事前説明会」を三好エコアクション21審査人講師のもと実施し、要領や留意事項の確認を行っている。  
 内部監査員5名(総務部長、市民部長、事業部長、教育部長、環境部長)が「監査様式第5号」に沿って監査を実施した。  
 今回、内部監査が初めての監査員がほとんどであったため、内部監査に当たっての着目点や事前調査等について研修会を行った結果、意識の統一も図ることができ、内部監査はスムーズに実施することができた。  
 監査の総括は、以下のとおりである。

全施設、各課とも環境方針の周知や自部署での環境負荷の認識、共通取り組み等エコアクション21への取り組みは着実に定着してきていることが確認できた。  
 今回の監査では、不適合・注意事項ともありませんでした。  
 また、今年度11月に予定している更新審査は外部審査となるため、引き続き環境負荷の軽減と各課の本来業務に対する取り組みを推進してください。  
 なお事務局は、今回の監査結果と、聞き取りした各課・施設の良い取り組みを全課へ周知してください。

## 8 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

### ○環境関連法規一覧

種別	法令等名称	関係分野	関係課 関係施設	遵守状況
環境全般	環境基本法	・環境施策全般の実施	全庁 全施設	○
	循環型社会形成推進基本法	・循環型社会の構築	全庁 全施設	○
	地球温暖化対策の推進に関する法律	・市役所における温暖化対策の策定 ・実施及び市民への働きかけ	全庁 全施設	○
資源循環関係	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (「廃掃法」)	・廃棄物関連施策の実施 ・事務事業から排出される一般廃棄物の処理 事務事業から排出される産業廃棄物の処理	全庁 全施設 財政課 建設工事 担当課	○
	容器包装に係る分別分別収集及び商品化の促進等に関する法律(「容器包装リサイクル法」)	・廃棄物関連施策の実施 ・事務、事業から排出される廃棄物の処理	環境課	○
	使用済自動車の再資源化等に関する法律(「自動車リサイクル法」)	・公用車の廃車時の環境配慮 ・購入、入替、車検時のリサイクル券購入	全庁 全施設 財政課 ほか 車所有部署、施設	○
	資源の有効な利用の促進に関する法律(「資源有効利用促進法」)	・パソコン類の廃棄時の環境配慮	総務課 ほか	○
	特定家庭用機器再商品化法(「家電リサイクル法」) 「小型家電リサイクル法」)	・庁舎等における家電製品の廃棄、リサイクル券の購入	全庁 全施設 財政課 ほか 家電製品所有部署、施設	—
	特定物質の規制等によるオゾン層保護に関する法律	・冷凍空調機器類の簡易点検、定期点検の義務化、漏洩発見時の漏洩箇所特定、修理の実施、機器点検、修理やフロン類の重点、回収等の機器整備に関する履歴の記録、保存義務、算定漏洩量の報告、機器廃棄時のフロン類回収、破壊(行程管理票の交付) ※3ヶ月に一度点検(記録の保管)	財政課 教育総務課 ほか 所有施設	○ 廃棄対象なし
	フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律(「フロン排出抑制法」)			
	国等による環境物品等の調達の推進に係る法律(「グリーン購入法」)	・庁舎等における物品、サービスの購入、使用における環境配慮	全庁 全施設	○
	建設工事に係る資材の再資源等に関する法律(「建設リサイクル法」)	・地域における資材の再資源化の促進 ・公共事業における建設廃物の再資源化と再利用の促進	建設工事担当課 会計課(検査係)	○
食品循環資源の再生利用等促進に関する法律(「食品リサイクル法」)	・食品残渣などのリサイクル	教育総務課 学校教育課 学校給食センター 各園	○再生化 実施率 85.84%	

種別	法令等名称	関係分野	関係課 関係施設	遵守状況
公害対策関係	大気汚染防止法	・ボイラー等のばい煙発生装置(設備)の使用 ・ボイラー及び冷温水発生機の使用	教育総務課 学校教育課 学校給食センター	○ ばい煙測定異常なし
	水質汚濁防止法	・し尿処理施設を設置する特定事業場からの排水の水質基準	上下水道課 財政課 学校給食センター	○
	騒音規制法	・騒音を発生する特定施設の設置、使用 ・騒音を発生する作業(工事)の実施	建設工事担当課	○
	振動規制法	・振動を発生する特定施設の設置、使用 ・振動を発生する作業(工事)の実施	建設工事担当課	○
	悪臭防止法	・悪臭を発生する特定施設の設置、使用 ・地域における悪臭の防止	環境課 学校給食センター	○
	静岡県生活環境の保全等に関する条例	・大気、水質、騒音、振動、悪臭、土壌汚染、地盤沈下等に関する規定、規制(特定施設の管理、都市計画区域外の公共工事等)	環境課 財政課 建設工事担当課	○
化学物質危険物関係	特定化学物質の環境への排出量の把握等管理の改善の促進に関する法律(「PRTR法」)	・有機塩素系化合物など特定化学物質の排出管理	財政課	○
	ダイオキシン類対策特別措置法	・ダイオキシンの排出抑制、管理(特定施設)	環境課	○ 処分済
	ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法(「PCB特別措置法」)	・PCBの適正な管理及び処理(処理計画の策定、県知事への届出)	財政課 教育総務課	○ 保管中
	農薬取締法	・公園内樹木の防除	管理課	○
	農薬安全使用指針、農作物病害虫防除基準(県指針)	・公園内樹木の防除	管理課	○
	消防法	・市有施設等における石油製品(重油、灯油、ガス等)の大量貯蔵(大規模施設、スポーツ施設)	商工観光課 社会教育課 公民館	○
	高圧ガス保安法 高圧ガス保安法施行令 冷凍保安規則	冷暖房装置(第一種、第二種高圧ガス製造施設)の管理	財政課 教育総務課 学校給食センター	○

種別	法令等名称	関係分野	関係課 関係施設	遵守状況
その他	水道法	・上水道事業の運営	上下水道課 学校給食センター 施設管理担当	○
	下水道法	・公共下水道事業の運営 ・公共下水道への排水	上下水道課 浄化槽設置施設管理 部署	○
	浄化槽法	・浄化槽の保守、水質管理 ・農業集落排水事業の運営 ・農業集落排水への排水	浄化槽設置施設管理 部署 上下水道課	○
	計量法	・水道メーターの設置	上下水道課	○
	建築物における衛生的環境の確保に関する法律(「ビル管法」)	・建築物における衛生的な環境の確保	財政課 施設管理担当部署	○
	エネルギーの使用の合理化に係る法律(「省エネ法」)	・エネルギー管理指定を受けている公共施設におけるエネルギーの使用 ・特定事業者(エネルギー使用量原油換算1,500kl以上)の義務 ・エネルギー統括者及びエネルギー管理企画推進者の選任、解任届、定期報告書、中長期計画書の提出(毎月7月末)	環境課	○
市条例等	御前崎市環境基本条例	・環境施策全般の実施	全庁 全施設	○
	御前崎市環境基本計画	・環境の保全及び創造に関する施策の総合的かつ計画的な推進	全庁 全施設	○
	御前崎市環境保全対策審議会規則	・環境基本条例に基づき、組織及び運営に関し、必要事項を定める	全庁 全施設 環境課	○
	御前崎市廃棄物の処理及び清掃に関する条例	・廃棄物関連施策の実施	全庁 全施設 環境課	○
	御前崎市下水道条例	・下水道事業の管理、推進	上下水道課	○

1. 上記環境関連法規等の一覧表に基づき、遵守状況を確認・評価した結果違反はありません。
2. 環境関連法規への違反指摘及び利害関係者からの訴訟は、過去3年間にわたりありませんでした。

平成29年5月31日 環境管理責任者

## ○公害苦情件数

市民からの公害苦情の件数は次のとおりです。不法投棄についてはパトロールによる発見件数で、一般家庭から出される生活ごみが主です。また犬の放し飼いやフンの後始末、空き地の除草や野焼きによる煙や臭いなどの生活公害の苦情が多くを占めています。

市では良好な生活環境を継続的に確保するため、早期に苦情が解消できるよう当事者に理解を求めていきます。

年度	大気汚染	水質汚濁	騒音	振動	悪臭	野焼き	不法投棄	雑草	犬関係
平成21年度	0	2	1	0	8	24	193	10	6
平成22年度	1	5	3	0	2	23	138	16	7
平成23年度	2	2	1	0	4	22	89	12	12
平成24年度	3	2	2	0	6	13	77	11	13
平成25年度	4	2	2	0	7	10	81	18	2
平成26年度	0	3	3	1	6	9	59	33	1
平成27年度	0	2	2	0	2	8	90	17	2
平成28年度	0	3	4	0	1	3	84	18	5

## 9. 代表者(市長)による全体の評価

御前崎市では、平成24年2月からエコアクション21認証取得に向けた取り組みを開始し、平成25年3月4日付けで認証・登録を受け、平成27年3月に図書館アスパル、学校給食センター、各公民館、平成29年3月に幼稚園、保育園、こども園を認証拡大し、平成29年度には、小学校・中学校・消防署へ認証・拡大していくところであります。

最初はエコアクション21への取組みに、戸惑い等もあったと思われませんが、職員一人ひとりの意識も高まり、環境への負荷低減に向けた取組みが日常化してきております。

さて、平成28年度の取組結果ですが、対象施設全体の基準年度比二酸化炭素排出量は、1.99%の削減となりました。電気使用量についても同様に、基準年度比で4.67%の削減となっております。

本庁舎には太陽光発電システムを設置し、また照明のLED化を進めておりますので、今後もさらに削減されていくものと期待しております。

今回未達成の目標については、さらに努力をお願いし、達成した項目におきましても、なお一層の省エネ、地球温暖化防止に努めていただくことを希望します。

また、今年度、拡大認証する小学校・中学校・消防署においても、本庁舎、支所同様、エコオフィスの活動はもちろん、本来業務においても、各所属長を中心に目標を定め、地道な活動に努めております。

「第2次御前崎市総合計画」、「子どもたちの夢と希望があふれるまち御前崎」に掲げた将来都市像を実現するため市民の皆様とともに「オール御前崎」で推進してまいります。

エコアクション21におきましても、市民と職員が協働で作り上げ、今後、小学校・中学校・消防署に認証範囲を広げ、全職員でエコアクション21の取組みを推進し、御前崎市の望ましい環境イメージ「育てよう自然の恵みと若い夢 未来へ灯す御前崎」の実現を目指してまいります。

平成29年8月31日  
御前崎市長 柳澤重夫



初版	平成24年11月22日
初版更新	平成24年12月27日
1版	平成25年 9月30日
2版	平成26年 8月31日
3版	平成27年 8月31日
4版	平成28年 8月31日
5版	平成29年 8月31日

御前崎市役所

エコアクション21

環境活動レポート

御前崎市役所 市民生活部 環境課  
〒437-1692 静岡県御前崎市池新田 5585 番地  
電話 0537-85-1162  
FAX 0537-85-1149  
E-mail kankyo@city.omaezaki.shizuoka.jp

